

第2回全国小児科医師現状調査

報告書

<完全版>

2011年3月

平成21-22年度 成育医療研究開発費事業

「女性医療従事者の支援に関する研究」班

(社) 日本小児科学会

女性医師の職域での環境改善プロジェクト委員会

目次

対象	2
問 1 および問 2 回答者の年齢と性別	2
問 3 婚姻の有無	3
問 4 主に家事をしている者	3
問 5 子どもの有無	4
問 6 現在、卒後何年目か	5
問 7 現在の年収	5
問 8 現在働いているか	5
問 9 (問 8 でいいえと答えた人) 職場に籍はあるか	6
問 10 主な勤務地 (現在)	6
問 11 現在の主な勤務形態 (職種) (問 8 ではいと答えた人)	7
問 11-1 現在の立場 (問 8 ではいと答え、問 11 で常勤の勤務医の人)	8
問 12 現在の 1 週間の実労働時間 (問 8 ではいと答えた人)	9
問 13 主な職場はどこか (問 8 ではいと答えた人)	10
問 14 現在の専攻は小児科 (成育医療) かどうか (問 8 ではいと答えた人)	10
問 15 現在の専門分野 (主 1 つ) (問 8 と問 14 の両方ではいと答えた人)	11
問 16 1 ヶ月に当直は何回あるか (問 8 ではいと答えた人)	11
問 17 1 ヶ月に休日は何回あるか (学会参加や会議出席は除く)	11
問 18 現在の仕事の状況の満足度	12
問 19 これまでに休職したことがあるか	13
問 20 (問 19 ではいと答えた人) 卒後何年目に休職したか	14
問 20-1 (問 19 ではいと答えた人) 何年間休職したか	15
問 21 これまでに専門分野を変更したことがあるか	15
問 22 (問 21 ではいと答えた人) 卒後何年目に転向したか	15
問 23 (問 21 ではいと答えた人) 転向前の小児科における専門分野	16
問 24 仕事をしていない、または休職したことがある場合の理由	16
問 25 これまでに非常勤としてのみ勤務したことがあるか	16
問 26 (問 25 ではいと答えた人) 何年間非常勤だったか	17
問 26-1 (問 25 ではいと答えた人) 卒後何年目に非常勤になったか	17
問 27 開業の場合、卒後何年目に開業したか	18
問 28 充実した仕事を続けるため支障になっているもの	18
問 29 自分の仕事が充実するために次のものは必要か	19
問 30 あなたの職場にその制度 (妊娠・出産・育児に関する制度) があるか	31
問 31 またそれを自分が実際に利用したか	37
問 32 またそれは一般的に必要なと思うか	42
<以降は子どもがある人への質問>	
問 33 通常の勤務中、子どもはどうしているか	48
問 34 勤務に当たって次のことは問題になったか	49
問 35 問 34 のような問題にどのように対応したか	55
考察	56

第2回全国小児科医師現状調査 報告書

対象

小児科学会会員名簿をもとに、70歳以下の会員を対象に2010年1月郵送自記入式無記名アンケート調査を行った。送付は全17,230通、有効回答数4,913通、有効回答率は28.5%であった。以下にその結果の概要を示す。（なお、2004年1月に実施した第1回調査は年齢上限を設置せず、送付は全18,950通、有効回答数6,950通、有効回答率は36.7%であった。）

問1および問2 回答者の年齢と性別

回答者は男性2,753人、女性2,160人（男女比56:44）であり、第1回調査ほどの男女間の人数差はなかった（第1回の調査の男女比64:36）。平均年齢は男性47.8±10.6歳（標準偏差）、女性43.2±10.7歳であった。年齢幅は男女ともに、25から70歳であり、回答数のピークは男性が50歳代に対し、女性は30歳代であった。なお、年齢不明者は男性5人、女性11人であった。第1回調査の70歳までの有効回答数が男性3,952人、女性2,368人であったので、今回はそれに比べて男性が30.3%、女性が8.8%減少した。

	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
回答者数	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913
平均年齢	28.1	34.5	45.0	54.0	63.6	27.9	34.3	44.1	54.1	63.6	45.8
標準偏差	0.9	2.8	2.9	2.8	3.2	0.8	2.8	2.9	2.8	2.9	10.9
標準誤差	0.1	0.1	0.1	0	0.1	0	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1

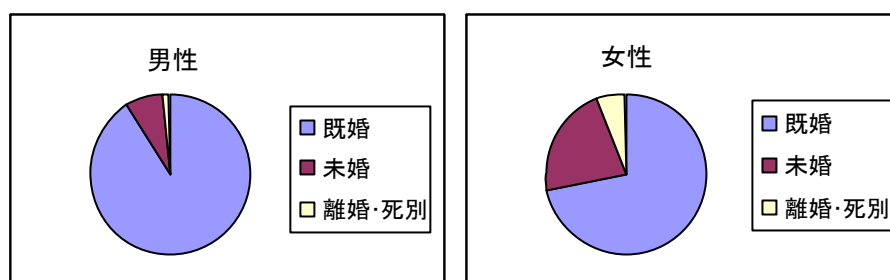
本調査は年齢上限を70歳としたため、第1回調査の時に比べ、60歳以上の回答数の割合が低下した。女性ではその影響が小さく、平均年齢は前回とほぼ同じであったが、男性はやや下がった。

	男性	男性	男性	女性	女性	女性
	39歳以下	40-59歳	60歳以上	39歳以下	40-59歳	60歳以上
第2回調査	25.4%	59.6%	15.0%	44.3%	46.0%	9.7%
第1回調査	23.7%	52.4%	23.8%	44.4%	43.2%	12.4%
2回目の傾向	やや上昇	上昇	低下	変化なし	やや上昇	やや低下

平均年齢(歳)	男性	女性
第2回調査	47.8±10.6	43.2±10.7
第1回調査	50.0±14.1	43.8±13.1
2回目の傾向	やや低下	変化なし

問3 婚姻の有無

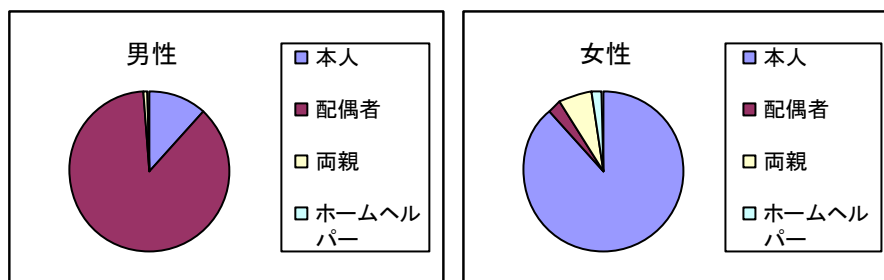
全回答者のうち既婚者は4,053人(82.5%、第1回調査81.6%)、そのうち男性が2,508人(男性回答者の91.1%、第1回調査89.6%)、女性が1,545人(女性回答者の71.5%、第1回調査59.4%)であり、第1回調査同様、男性の方が既婚率は高かった。しかし、男女ともに既婚率は上昇し、特に女性における上昇が目立った。一方で、未婚者は674人(13.7%)、そのうち男性が194人(男性回答者の7.0%)、女性が480人(女性回答者の22.2%)であり、依然として女性の方が未婚率は高かった。



	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
未婚	40	105	30	15	4	87	234	110	37	12	674
既婚(事実婚)	50	493	719	850	396	55	560	430	338	162	4,053
離婚・死別	1	8	13	13	10	1	20	37	38	32	173
無回答		1		2	3			2	2	3	13
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

問4 主に家事をしている者

男性は本人322人(11.7%)、配偶者2,369人(86.1%)に対し、女性は本人1,868人(86.5%)、配偶者60人(2.8%)であった。男性医師の場合は主に配偶者が家事を担当しているのに対し、女性医師は自分自身が家事を担当している。両親と回答したのは男性29人(1.1%)、女性139人(6.4%、第1回調査7.6%)、ホームヘルパーと回答したのは男性7人(0.3%)、女性46人(2.1%、第1回調査4.6%)であった。本人と回答した女性は、第1回調査の81.9%から86.5%に増えている。

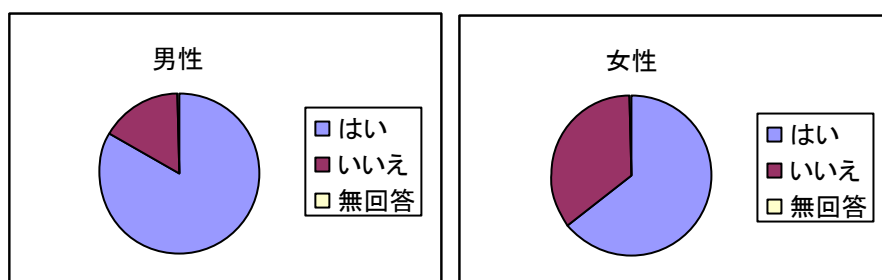


以下、表中回答者数が最も多いセルに男性は水色、女性はローズ、次に回答者が多いセルに男性は薄い水色、女性はベージュで着色した。

	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
本人	44	127	71	57	23	124	720	505	345	174	2,190
配偶者	45	468	670	804	382	5	25	10	13	7	2,429
両親	1	8	11	7	2	11	56	49	19	4	168
ホームヘルパー		1	2	2	2		4	7	19	16	53
その他		3	6	9	4	3	7	5	19	7	63
不明	1		2	1			2	3		1	10
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

問5 子どもの有無

子どもがいると答えたものは 3,677 人 (74.8%) いないと答えたものは 1,225 人 (25.5%) 不明 11 人 (0.2%) であった。男性回答者のうち子どもがいるものは 2,291 人 (83.2%) いないものは 457 人 (16.6%)、女性回答者のうち子どもがいるものは 1,386 人 (64.2%) いないものは 768 人 (35.6%) であった。男性は第1回調査と変化はないが、女性は子どもがいる割合が 3.5%上昇した。



	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
はい	25	413	667	806	380	18	431	417	344	176	3,677
いいえ	66	193	94	73	31	125	381	162	69	31	1,225
無回答		1	1	1	2		2		2	2	11
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

問6 現在、卒後何年目か

現在の卒後年数は男性 22.3±10.5 年、女性 18.2±10.7 年であり、第 1 回調査（男性 24.3±14.0 年、女性 18.9±13.0 年）と比べて男性の年数が 2 年下がったが、女性とはほぼ同等だった。

	性別		Total
	男性	女性	
回答者数	2,706	2,145	4,851
平均卒後年数	22.3	18.2	20.5
標準偏差	10.5	10.7	10.8
卒後年数幅	1～46	1～46	1～46

問7 現在の年収

各年代とも、男性の方が女性よりも収入が多い傾向が見られた。

	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
500 万円以下	16	17	2	5	9	40	196	65	13	16	379
500～1000 万円	57	234	61	29	32	89	411	171	57	34	1,175
1000～1500 万円	18	286	324	234	110	14	185	215	172	63	1,621
1500～2000 万円		50	249	299	119		13	68	80	47	925
2000～2500 万円		13	65	135	70		1	23	36	25	368
2500 万円以上		4	57	166	67		1	31	52	22	400
無回答		3	4	12	6		7	6	5	2	45
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

問8 現在働いているか

現在働いているものは 4,745 人（96.6%）であり、そのうち男性が 2,730 人（男性就労率 99.2%）、女性が 2,015 人（女性就労率 93.3%）であった。全体の就労率は 99.9%。

上昇したが、女性の就労率は第1回調査結果（93.3%）と同値であることから、全体の
上昇は男性の就労率上昇による。しかし、これは前回の調査に比べ、本調査では60歳
以上の男性回答者の割合が低下した（8.8%低下）からではないかと考えられる。

	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
はい	91	599	758	874	408	135	714	556	408	202	4,745
いいえ		6	2	1	4	8	100	23	5	6	155
無回答		2	2	5	1				2	1	13
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

問9 （問8でいいえと答えた人）職場に籍はあるか

	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
はい		3	1	1	1	7	69	7	2	2	93
いいえ		2			3	1	30	16	3	4	59
無回答		1	1				1				3
Total	0	6	2	1	4	8	100	23	5	6	155

休職中のうち、男性6人（休職男性の46.2%）女性87人（休職女性の61.3%）
は職場に籍が存在し、この数字は第1回調査（男性36.2%、女性44.0%）と比べて男女
共に上昇していた。ただし、40歳以上の女性、60歳以上の男性では籍無しという回答
が籍有りを上回っていた。

問10 主な勤務地（現在）

主な勤務地として多かった上位6つは、東京702人（14.3%）、大阪368人（7.5%）、
神奈川322人（6.6%）、愛知240人（4.9%）、福岡214人（4.4%）、北海道195人（4.0%）
であった。この傾向は第1回調査と変わりなかった。

	性別		Total	滋賀県	32	24	56
	男性	女性		京都府	64	46	110
北海道	129	66	195	大阪府	182	186	368
青森県	24	11	35	兵庫県	97	85	182
岩手県	19	15	34	奈良県	39	9	48
宮城県	43	32	75	和歌山県	28	10	38
秋田県	26	12	38	鳥取県	24	16	40
山形県	28	9	37	島根県	30	15	45

福島県	40	21	61	岡山県	51	46	97
茨城県	50	32	82	広島県	68	44	112
栃木県	39	32	71	山口県	29	19	48
群馬県	55	41	96	徳島県	18	19	37
埼玉県	96	81	177	香川県	28	19	47
千葉県	104	85	189	愛媛県	27	19	46
東京都	314	388	702	高知県	23	9	32
神奈川県	183	139	322	福岡県	119	95	214
新潟県	50	28	78	佐賀県	16	8	24
富山県	25	21	46	長崎県	43	20	63
石川県	34	17	51	熊本県	46	32	78
福井県	21	10	31	大分県	26	17	43
山梨県	18	11	29	宮崎県	17	20	37
長野県	51	36	87	鹿児島県	40	15	55
岐阜県	44	24	68	沖縄県	35	29	64
静岡県	82	41	123	その他	1		1
愛知県	135	105	240	不明	13	76	89
三重県	47	25	72	Total	2,753	2,160	4,913

問 11 現在の主な勤務形態（職種）（問 8 ではいと答えた人）

20 歳代は研修医から常勤勤務医の割合が男女共に高く、30 歳代、40 歳代も男女共に常勤勤務医の割合が最も高いが、50 歳代になると女性は開業医の割合が最も高くなり、男性は 60 歳代に開業医が勤務医を越えることがわかった。

	性別 × 年齢										Total
	男性 20 代	男性 30 代	男性 40 代	男性 50 代	男性 60 代	女性 20 代	女性 30 代	女性 40 代	女性 50 代	女性 60 代	
初期研修医	6	4				9	2				21
後期研修医	67	52	2			93	48	1	1		264
常勤の勤務医	11	376	517	408	117	19	396	254	144	45	2,287
非常勤の勤務医		52	7	5	21	1	161	111	31	20	409
開業医		17	153	356	204		18	108	172	100	1,128
大学院生	3	45	2			2	25	1			78
研究生・見学生							6	1	1		8
その他		6	15	24	12	1	16	28	21	8	131
無回答	4	47	62	81	54	10	42	52	38	29	419
Total	91	599	758	874	408	135	714	556	408	202	4,745

20 歳代の非常勤勤務の割合は男女共に大幅に減少したが、これは新たな研修医制度の導入の影響と思われる。しかし、30 歳代以降においては第 1 回調査と比べて男女共にいずれも増加していた。特に、30 歳代の男性、30、40、50 歳代の女性における増加が目立った。全体としても男性が 0.5%、女性が 2.8%上昇した。

非常勤勤務 の割合 (%)	性別 × 年齢									
	男性 20 代	男性 30 代	男性 40 代	男性 50 代	男性 60 代	女性 20 代	女性 30 代	女性 40 代	女性 50 代	女性 60 代
第 2 回調査	0	8.7	0.9	0.6	5.1	0.7	22.5	19.6	7.6	9.9
第 1 回調査	9.3	6.4	0.4	0.4	3.5	7.8	19.1	15.5	5	9.1

非常勤勤務 (%)	男性	女性
第 2 回調査	3.1	16.1
第 1 回調査	2.6	13.3
2 回目の傾向	増加	増加

問11-1 現在の立場（問 8 ではいと答え、問 11 で常勤の勤務医の人）

男女共に、30 歳代、40 歳代、50 歳代になるに従い、医員、医長、部長の人数（割合）が最も高くなる傾向は同じであった。ただし、40 歳代までの医長、部長の人数（割合）と 50 歳代以降の部長の人数（割合）は、男性の方が女性を上回っていることが示された。一方で、大学における講師以上のスタッフの割合については、表中の赤字で示す通り男女間により大きな開きがあることがわかった。

	性別 × 年齢										Total
	男性 20 代	男性 30 代	男性 40 代	男性 50 代	男性 60 代	女性 20 代	女性 30 代	女性 40 代	女性 50 代	女性 60 代	
教授			4	31	13				1	2	51
準教授			27	35	1			2	2		67
講師		6	55	10			2	15	8	1	97
助教		80	53	1		1	56	26	1		218
部長		16	140	194	54		7	48	53	18	530
医長		92	166	56	8		65	76	30	8	501
医員	9	162	26	6	4	17	242	46	13	5	530
その他		15	37	67	35	1	19	33	33	11	251
無回答	2	5	9	8	2		5	8	3		42
Total	11	376	517	408	117	19	396	254	144	45	2,287

上記の表を各年代の割合で示した。

	性別×年齢（％）									
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代
教授	0	0	1	8	11	0	0	0	1	4
準教授	0	0	5	9	1	0	0	1	1	0
講師	0	2	11	2	0	0	1	6	6	2
助教	0	21	10	0	0	5	14	10	1	0
部長	0	4	27	48	46	0	2	19	37	40
医長	0	24	32	14	7	0	2	30	21	18
医員	82	43	5	1	3	89	61	18	9	11
その他	0	4	7	16	30	5	5	13	23	24
不明	18	1	2	2	2	0	1	3	2	0

問 12 現在の 1 週間の実労働時間（問 8 ではいと答えた人）

1 週間の実労働時間の平均は 50.3±18.2 時間であり、第 1 回調査結果（50.7 ±20.3 時間）と変化はなかった。男女別年代別の労働時間は表の通り若い年代ほど労働時間が長い傾向であるが、男女を比較すると各年代とも男性の方が長く、女性は 30 歳代で全体平均を下回る下降を見せ、40 歳代は 50 歳代より短い結果を示した。

	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
回答者数	85	566	691	795	366	129	677	522	374	185	4,390
平均実労時間	74.7	62.0	57.5	51.1	42.0	66.9	46.2	40.5	42.3	37.3	50.3
標準偏差	15.9	16.1	14.8	12.9	12.9	16.5	21.9	17.1	13.3	13	18.2

次に、男女別に子供の有無で労働時間を比較したところ、子供がいる女性の労働時間のみが平均値に比べ少ないことがわかった。

	性別×子供の有無				Total
	男性 (子供有)	男性 (子供無)	女性 (子供有)	女性 (子供無)	
回答者数	2,086	414	1,187	698	4,385
平均実労時間	53.7	59.9	37.4	56.3	50.3
標準偏差	15.5	18.1	15.7	18.7	18.2
実労時間幅	3～110	3～110	0～90	3～110	0～110

男女別に第 1 回調査と比較すると、男性は約 2 時間延長し、女性は約 2 時間短縮した結果となった。

1 週間実労働時間	男性	女性
第 2 回調査	54.9±16.4	44.5±20.6
第 1 回調査	52.8±19.3	46.8±21.4
2 回目の傾向	増加	減少

問 13 主な職場はどこか（問 8 ではいと答えた人）

40 歳代までの男性は公的病院勤務が多く、50 歳代以降は診療所に変化する。女性も同じ傾向であるが、診療所への移行が 40 歳代であることと同時に公的病院よりも私的病院の方が増えることが特徴である。また、大学病院勤務は 20 歳代のみ女性の方が多く 30 歳代で男女ほぼ同程度となるが、40 歳代からは極端に女性が少なくなっている。これは、前述の大学スタッフとなる女性医師が少ないという結果と一致している。

	性別×年齢										Total
	男性 20 代	男性 30 代	男性 40 代	男性 50 代	男性 60 代	女性 20 代	女性 30 代	女性 40 代	女性 50 代	女性 60 代	
大学病院	15	179	147	83	17	35	172	61	16	3	728
公的病院	52	258	255	206	65	68	250	118	57	14	1,343
私的病院	20	101	119	107	39	27	187	135	60	28	823
診療所		26	175	395	238	1	59	181	217	128	1,420
研究所		8	7	7	2		7	4	7		42
行政機関		3	7	8	5		8	11	19	11	72
その他		3	14	20	15	1	12	23	14	8	110
無回答	4	21	34	48	27	3	19	23	18	10	207
Total	91	599	758	874	408	135	714	556	408	202	4,745

問14 現在の専攻は小児科（成育医療）かどうか（問 8 ではいと答えた人）

4,745 人の回答中、4,315 人（90.9%）が小児科（成育医療）であり、男性 2,466 人（90.3%）女性 1,849 人（91.8%）であった。

	性別×年齢										Total
	男性 20 代	男性 30 代	男性 40 代	男性 50 代	男性 60 代	女性 20 代	女性 30 代	女性 40 代	女性 50 代	女性 60 代	
はい	84	560	685	778	359	126	672	500	370	181	4,315
いいえ	3	17	43	51	26	7	26	36	23	11	243
無回答	4	22	30	45	23	2	16	20	15	10	187
Total	91	599	758	874	408	135	714	556	408	202	4,745

問15 現在の専門分野（主1つだけ）（問8と問14の両方ではいと答えた人）

内科（一般小児科）が1,546人（35.8%）で最も多かったが、無回答が1,856人（43.0%）であることから、質問として不適切であったと思われる。

問16 1ヶ月に当直は何回あるか（問8ではいと答えた人）

男女共に年代が進むにつれて平均当直回数は減少しているが、特に女性の40歳代からは1回以下となった。

	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
回答者数	86	572	723	776	335	130	682	524	366	156	4,350
平均当直回数	5.0	4.1	2.5	1.1	0.5	4.3	2.2	0.8	0.4	0.4	1.9
標準偏差	2.2	2.4	2.4	1.8	1.3	2.3	2.5	1.7	1.3	2.3	2.5
当直回数幅	0～12	0～20	0～15	0～10	0～10	0～10	0～15	0～15	0～13	0～25	0～25

問17 1ヶ月に休日は何回あるか（学会参加や会議出席は除く）

休日がない人が231人（4.9%）、1～2日が717人（15.1%）という結果であった。特に、男性医師で休日がない人は149人（5.5%）、1～2回が466人（17.1%）に及んだ。一方で、男女共に3～4日が最も多く、男性1,120人（41.0%）、女性617人（30.6%）であった。5～7日は全体で1,192人（25.1%）であり男女差はなかった。しかし、8日以上になると、全体で774人（16.3%）であり、男性は240人（8.8%）に対し、女性は534人（26.5%）と大きな男女差を示した。

	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
ない	14	52	47	26	10	21	38	13	4	6	231
1～2日	33	165	130	98	40	45	116	48	31	11	717
3～4日	31	243	348	376	122	49	190	169	146	63	1,737
5～7日	12	114	180	263	133	16	160	152	112	50	1,192
8日以上		23	48	89	80	3	197	163	111	60	774
無回答	1	2	5	22	23	1	13	11	4	12	94
Total	91	599	758	874	408	135	714	556	408	202	4,745

第1回調査の分類で比較すると、男女共に休日がない人は減少し、1～4回の人が増えているものの、5～7日は減る傾向にあった。8日以上になると、全体で少し増えているが、これは女性の方の影響であった。

1ヶ月の休日	0日	1～4日	5～7日	8日以上
第2回調査	4.9%	51.7%	25.1%	16.3%
第1回調査	8.1%	44.4%	30.5%	15.6%
2回目の傾向	減少	増加	減少	増加

問 18 現在の仕事の状況の満足度

収入について満足していると回答した人は 2,348 人（49.5%）であり、特に女性は 1,101 人（54.6%）が満足と回答した。地位について満足していると回答した人は 2,661 人（56.1%）であり、特に女性は 1,185 人（58.8%）が満足と回答した。労働時間については満足していると回答した人は 1,856 人（39.1%）に過ぎず、特に男性は 978 人（35.8%）にとどまった。一方、やや不満と非常に不満の合計は 1,464 人（30.9%）におよび、特に男性は 908 人（33.3%）に達した。技能・能力の発揮については、「満足している」と「どちらとも言えない」の合計が 3,637 人（76.6%）で男女差は 2%以内だった。家庭とのバランスについては、満足していると回答した人は 1,641 人（34.6%）に過ぎず、やや不満と非常に不満の合計は 1,547 人（32.6%）におよび、特に男性は 916 人（33.6%）に達した。

収入	性別×年齢										Total
	男性	男性	男性	男性	男性	女性	女性	女性	女性	女性	
	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	
満足している	43	232	322	440	210	80	350	303	247	121	2,348
どちらともいえない	20	140	205	200	90	22	176	136	89	41	1,119
やや不満だ	18	137	169	168	70	23	130	92	53	24	884
非常に不満だ	10	87	60	48	18	10	53	20	12	8	326
無回答		3	2	18	20		5	5	7	8	68
Total	91	599	758	874	408	135	714	556	408	202	4,745

地位	性別×年齢										Total
	男性	男性	男性	男性	男性	女性	女性	女性	女性	女性	
	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	
満足している	43	273	397	509	254	94	379	299	272	141	2,661
どちらともいえない	39	224	269	285	111	34	225	184	105	44	1,520
やや不満だ	7	64	71	55	17	6	76	53	23	6	378
非常に不満だ	2	35	18	8	1	1	28	11	3	1	108
無回答		3	3	17	25		6	9	5	10	78
Total	91	599	758	874	408	135	714	556	408	202	4,745

労働時間	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
満足している	30	182	242	341	183	41	302	246	181	108	1,856
どちらともいえない	30	200	216	246	106	44	188	165	120	35	1,350
やや不満だ	24	130	212	218	78	35	159	119	88	40	1,103
非常に不満だ	7	83	86	51	19	14	59	20	13	9	361
無回答		4	2	18	22	1	6	6	6	10	75
Total	91	599	758	874	408	135	714	556	408	202	4,745

技能・ 能力の発揮	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
満足している	33	200	276	386	186	56	239	199	183	99	1,857
どちらともいえない	33	227	285	295	151	57	285	213	170	64	1,780
やや不満だ	24	139	165	153	38	18	146	115	45	28	871
非常に不満だ	1	30	29	22	10	2	37	22	5	2	160
無回答		3	3	18	23	2	7	7	5	9	77
Total	91	599	758	874	408	135	714	556	408	202	4,745

家庭との バランス	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
満足している	24	156	219	332	200	22	241	187	165	95	1,641
どちらともいえない	26	172	236	275	124	59	211	185	139	52	1,479
やや不満だ	35	185	209	197	47	41	198	141	85	39	1,177
非常に不満だ	6	82	91	50	14	12	58	36	13	8	370
無回答		4	3	20	23	1	6	7	6	8	78
Total	91	599	758	874	408	135	714	556	408	202	4,745

問 19 これまでに休職したことがあるか

男性の 6.1%、女性の 50.3%が休職を経験している。特に女性の 30 歳代、40 歳代は休職経験者の方が未経験者より明らかに多い。第 1 回調査では男性の 8.4%、女性の 47.0%が休職を経験していたので、それと比べると、男性は減少傾向にあり、女性は増加傾向にあることがわかる。

	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
はい	1	38	47	53	28	17	424	340	210	95	1,253
いいえ	90	568	713	814	368	126	385	233	203	102	3,602
無回答		1	2	13	17		5	6	2	12	58
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

女性の場合、休職は妊娠・出産に関連するものである可能性を考慮し、男女別に子供の有無で休職経験の有無を比較したところ、子供がいる女性は他のグループと比べて休職経験者が多いことがわかった。

	性別×子供の有無				Total
	男性 (子供有)	男性 (子供無)	女性 (子供有)	女性 (子供無)	
はい	135	32	951	134	1,252
いいえ	2,126	422	416	629	3,593
無回答	30	3	19	5	57
Total	2,291	457	1,386	768	4,902

問 20 （問 19 ではいと答えた人）卒後何年目に休職したか

全体の平均休職開始卒年は 7.8 ± 5.6 年であったが、特に女性では 30 歳代から 60 歳代を通して、卒後 7 年前後に休職を開始していることがわかる。この傾向は第 1 回調査も同様であった。一方で、男性は年代が上がるにつれ休職開始年は上昇している。

休職開始 卒年	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
回答者数	1	37	46	51	26	15	420	333	205	90	1,224
平均卒年	3.0	5.7	11.4	14.5	23.7	3.2	6.3	8.1	7.1	6.8	7.8
標準偏差		3.4	5.7	7.8	12.9	0.8	2.7	4.2	4.9	7.5	5.6
卒年幅	3～3	1～15	2～24	3～33	2～43	2～5	1～21	0.2～25	1～31	1～40	0.2～43

卒後 7 年前後は 30 歳代前半に相当することが多いので、妊娠・出産に伴う休職の可能性を考慮し、子供の有無で休職開始卒年を調べると、子供有の女性は 6.7 ± 3.9 年であり、他のグループと比べて早いことがわかった。

開始年	性別×子供の有無				Total
	男性 (子供有)	男性 (子供無)	女性 (子供有)	女性 (子供無)	
回答者数	129	32	933	129	1,223
平均休職開始卒年数	13.5	11.1	6.7	9.3	7.8
標準偏差	9.6	9.1	3.9	6	5.6
休職開始卒年幅	1～43	1～41	0.2～40	1～38	0.2～43

問 20-1 （問 19 ではいと答えた人）何年間休職したか

全体の平均休職年数は 2.8 ± 2.3 年であり、女性は 40 歳代から 60 歳代が平均を上回った。

期間	性別×年齢										Total
	男性 20 代	男性 30 代	男性 40 代	男性 50 代	男性 60 代	女性 20 代	女性 30 代	女性 40 代	女性 50 代	女性 60 代	
回答者数	1	35	44	47	23	15	392	316	203	86	1,162
平均休職年数	2.0	1.8	2.4	2.0	1.7	1.4	2.2	3.1	3.6	4.0	2.8
標準偏差	—	1.0	1.6	1.0	0.7	0.4	1.1	2.8	2.7	3.0	2.3
休職年数幅	2～2	1～6	1～8	1～7	1～4	1～2	1～9	1～33	1～16	1～17	1～33

問21 これまでに専門分野を変更したことがあるか

300 人（6.7%）に専門分野の変更経験があった。

	性別×年齢										Total
	男性 20 代	男性 30 代	男性 40 代	男性 50 代	男性 60 代	女性 20 代	女性 30 代	女性 40 代	女性 50 代	女性 60 代	
はい	2	21	53	52	24		41	41	49	17	300
いいえ	81	542	632	724	333	130	720	477	325	163	4,127
無回答	1	4	3	7	6	4	7	5	2	5	44
Total	84	567	688	783	363	134	768	523	376	185	4,471

問 22 （問 21 ではいと答えた人）卒後何年目に転向したか

全体で卒後 9.5 ± 6.5 年目に専門分野の変更経験があることがわかった。男女共に、年代が上がるにつれ変更年は上昇していた。

	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
回答者数	2	20	53	51	23	0	41	40	49	16	295
平均変更年	3	5.4	9	10.4	15	－	6	8.9	11	13	9.5
標準偏差	0	2.3	3.9	6.6	10.7	－	2.6	4.5	6.8	10.1	6.5

問 23 （問 21 ではいと答えた人）転向前の小児科における専門分野

男女共に各年代で転向前の分野は内科（一般小児科）が 39. 7%を占めた。

問24 仕事をしていない、または休職したことがある場合の理由

休職中あるいは休職したことがある女性はその年代も育児が最も大きな理由であり、女性回答者 1, 114 人中 719 人（64. 5%）に及んだ。その一方で、男性で育児を理由に休職した経験のある人は回答者 176 人中わずか 4 人（2. 3%）に過ぎなかった。第 1 回調査では、女性回答者 1, 187 人中 665 人（56. 0%）が育児を休職の理由としていたので、それと比べると、さらに育児と休職の関係が深くなる傾向にあることがわかる。

	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
結婚のため							16	9	5	4	34
育児のため		2		2		10	326	212	121	50	723
家族の介護のため		1					4	5	2	1	13
自分の健康上の理由		18	18	17	9		41	31	11	5	150
その他	1	9	16	13	9	2	22	40	34	20	166
無回答		11	15	22	13	5	35	48	38	17	204
Total	1	41	49	54	31	17	444	345	211	97	1,290

問 25 これまでに非常勤としてのみ勤務したことがあるか

40 歳代以降の女性は非常勤としてのみ勤務した経験がある人がない人を上回った。特に 40 歳代では、579 人中 337 人（58. 2%）が非常勤勤務経験者であった。第 1 回調査では、男性 19. 1%、女性 42. 1%であったが、今回は男性 18. 2%、女性 46. 9%であり、女性の非常勤勤務経験率はさらに上昇していた。

	性別×年齢										Total
	男性	男性	男性	男性	男性	女性	女性	女性	女性	女性	
	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	
はい	7	149	163	140	42	17	359	337	202	99	1,515
いいえ	75	405	536	671	318	105	419	219	188	92	3,028
無回答	9	53	63	69	53	21	36	23	25	18	370
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

男女別に子供の有無で非常勤経験者を比較したところ、以下の表の通り、子供がいる女性には非常勤経験者が多いことがわかった。

	性別×子供の有無				Total
	男性	男性	女性	女性	
	(子供有)	(子供無)	(子供有)	(子供無)	
はい	409	92	801	210	1,512
いいえ	1,669	332	529	492	3,022
無回答	213	33	56	66	368
Total	2,291	457	1,386	768	4,902

問 26 （問 25 ではいと答えた人）何年間非常勤だったか

全体平均が 4.6±3.8 年間であったが、女性は 40 歳代以降平均を上回り、50 歳代までは年代が進むにつれ年数も上昇した。

期間	性別×年齢										Total
	男性	男性	男性	男性	男性	女性	女性	女性	女性	女性	
	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	
回答者数	7	141	154	131	30	15	299	290	176	89	1,332
平均非常勤年数	3.1	3.4	3.7	4	3.5	3	3.4	5.3	6.9	6.6	4.6
標準偏差	0.8	2	2.4	2.7	2.3	1.2	1.9	3.7	6.1	5.8	3.8

問 26-1 （問 25 ではいと答えた人）卒後何年目に非常勤になったか

全体平均が 7.7±6.0 年であったが、40 歳代以降の女性と 60 歳代以降の男性は平均を上回っており、男女共年代が進むにつれほぼ年数が上昇する傾向を示した。

平均非常勤変更 開始卒年数	性別×年齢										Total
	男性	男性	男性	男性	男性	女性	女性	女性	女性	女性	
	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	
回答者数	7	146	158	134	40	17	352	322	194	96	1,466
平均卒年数	1.1	4.9	6.1	6.5	14.7	1.7	6.8	9.3	9	10.4	7.7
標準偏差	0.3	2.9	4.6	5.9	15.5	1.2	2.8	4.5	6.2	10.4	6

問 27 開業の場合、卒後何年目に開業したか

全体平均は 15.8±6.3 年であったが、男女共年代が進むにつれ年数が上昇する傾向を示した。

	性別×年齢										Total
	男性 20 代	男性 30 代	男性 40 代	男性 50 代	男性 60 代	女性 20 代	女性 30 代	女性 40 代	女性 50 代	女性 60 代	
回答者数	1	20	172	398	247	0	20	126	196	123	1,303
平均開業卒年数	1	10	14.5	16.5	17.8	－	10.2	13.6	15.1	16.3	15.8
標準偏差	－	3.4	3.9	5.6	8.2	－	2.5	4.1	6	7.7	6.3

問28 充実した仕事を続けるため支障になっているもの (21 項目)

表中の回答者数が 200 人を越えたセルに対して、男性は水色、女性はローズで着色し、回答者数が 100 人を越えたセルに対して、男性は薄い水色、女性はベージュで着色した。

女性は、妊娠・出産、育児、子どもの教育、家族の支援のなさ、自分の能力、自分の体力が支障になると考える人が多かった。また、労働条件の悪さや職場の人間関係、職場の支援のなさも支障となるとする人が多かった。一方、男性では、労働条件の悪さや自分の体力、自分の能力、金銭的問題をあげる人が多く、さらに男性では、支障はないと回答する人も多かった。

	性別×年齢										Total
	男性 20 代	男性 30 代	男性 40 代	男性 50 代	男性 60 代	女性 20 代	女性 30 代	女性 40 代	女性 50 代	女性 60 代	
結婚	8	33	29	17	2	25	94	61	40	27	336
妊娠・出産	1	9	8	2	2	58	305	174	132	63	754
育児	12	67	55	19	3	60	380	266	181	78	1,121
子どもの教育	5	63	90	65	6	19	200	234	129	43	854
家族の支援がない	2	32	52	29	11	7	134	120	85	51	523
自分の病気		31	58	75	52	7	62	48	50	20	403
自分の能力	14	91	147	139	60	20	200	150	109	38	968
自分の体力	17	109	215	190	106	32	258	214	132	50	1,323
希望する就職先ない	4	35	43	32	9	4	88	55	21	6	297
大学に戻れない		8	18	10	4	2	13	22	15	6	98
再教育の場がない	1	23	25	34	11	11	76	64	41	27	313
労働条件の悪さ	30	201	202	132	23	37	239	112	46	20	1,042
職場の人間関係	5	92	96	77	21	14	105	65	26	12	513
職場の性差別	1	6	3	1	1		28	36	19	14	109

職場の支援がない	7	69	76	66	7	20	122	65	35	14	481
転勤	10	63	31	9	1	12	45	16	7	1	195
配偶者の転勤・留学	4	7	8	3	2	18	97	66	47	23	275
金銭的な問題	14	134	97	104	25	7	47	26	14	6	474
介護	2	10	32	52	17	2	18	63	78	45	319
その他	6	32	34	51	15	3	22	23	15	3	204
支障はない	22	115	173	284	175	25	60	68	64	35	1,021
Total	165	1,230	1,492	1,391	553	383	2,593	1,948	1,286	582	11,623

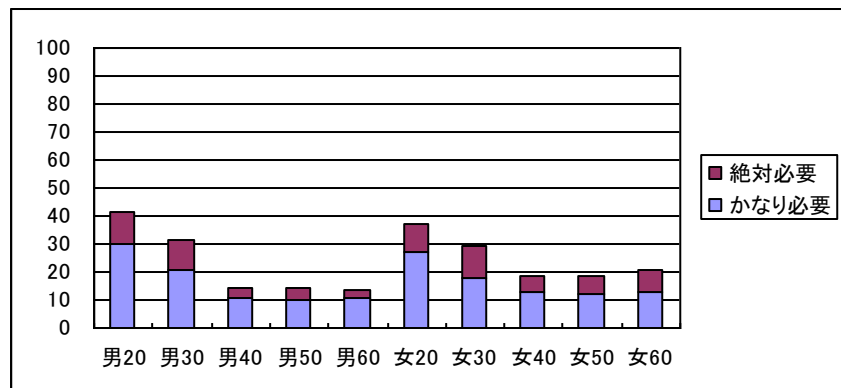
問29 自分の仕事が充実するために次のものは必要か（21項目 各々を回答）

以下、表中回答者数が最も多いセルに男性は水色、女性はローズ、次に回答者が多いセルに男性は薄い水色、女性はベージュで着色した。棒グラフは性別・年代別の必要度の違いとして、「絶対必要」と「かなり必要」の割合（%）を示した。

＜仕事・キャリア形成に関する項目：6項目＞

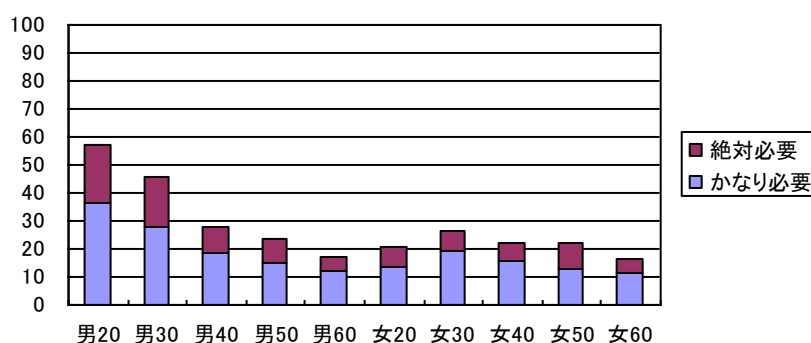
1. キャリア 相談	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
絶対必要	11	66	27	39	13	14	91	36	27	16	340
かなり必要	27	126	84	89	43	39	147	73	49	27	704
あるとよい	49	309	376	339	104	82	479	330	227	85	2,380
必要ではない	4	101	261	366	202	7	87	119	85	44	1,276
無回答		5	14	47	51	1	10	21	27	37	213
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

1. キャリア 相談



2. 留学・研究の機会	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
絶対必要	19	108	73	75	19	11	61	39	38	11	454
かなり必要	33	170	139	134	51	19	157	89	53	24	869
あるとよい	35	249	362	372	131	94	434	309	206	89	2,281
必要ではない	4	77	179	259	170	18	154	122	97	51	1,131
無回答		3	9	40	42	1	8	20	21	34	178
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

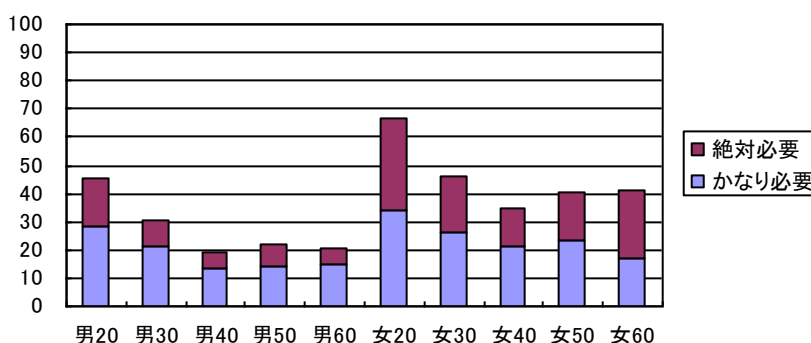
2. 留学・研究の機会



3. 再教育制度 (育児・介護休業後など)	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
絶対必要	15	54	45	66	25	46	162	79	70	50	612
かなり必要	26	129	100	127	61	49	215	122	97	36	962
あるとよい	38	270	331	320	121	43	356	264	151	65	1,959
必要ではない	12	148	269	324	157	4	77	96	77	32	1,196
無回答		6	17	43	49	1	4	18	20	26	184
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

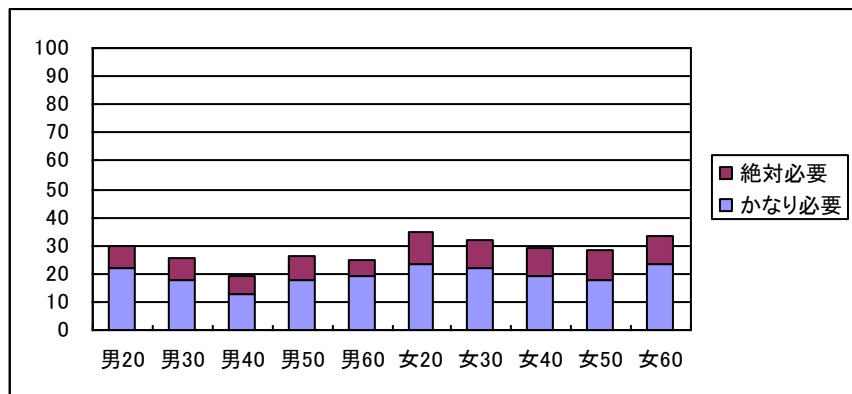
3. 再教育制度

(育児・介護休業後など)



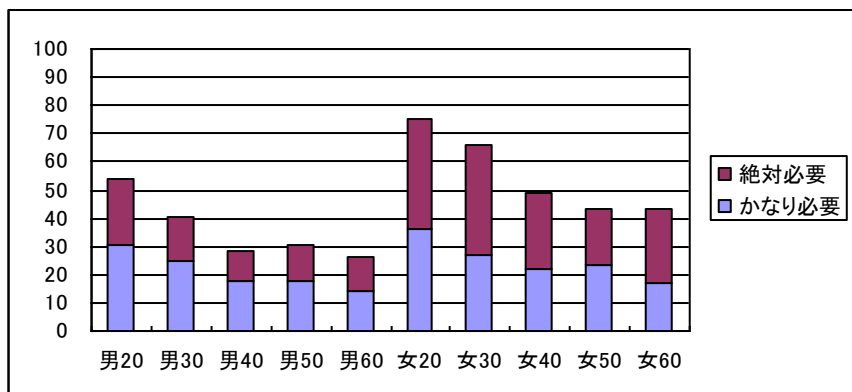
4. 学会などの 性比率是正	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
絶対必要	7	45	46	69	23	17	82	56	44	21	410
かなり必要	20	109	98	159	79	33	179	111	75	49	912
あるとよい	47	284	351	340	117	73	404	278	177	68	2,139
必要ではない	17	162	246	267	148	15	133	110	96	36	1,230
無回答		7	21	45	46	5	16	24	23	35	222
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

4. 学会などの
性比率是正



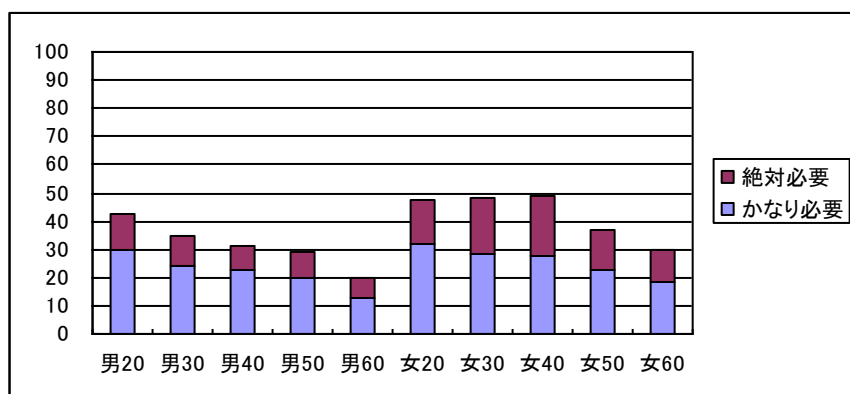
5. 専門医等の 認定期間の延長	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
絶対必要	21	96	79	108	48	55	319	156	83	54	1,019
かなり必要	28	151	136	158	60	52	218	127	96	36	1,062
あるとよい	38	242	312	305	106	33	220	201	145	64	1,666
必要ではない	4	112	216	258	139	3	49	76	69	31	957
無回答		6	19	51	60		8	19	22	24	209
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

5. 専門医等の
認定期間の延長



6. 遠隔学会参加	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
絶対必要	12	67	65	78	28	22	161	124	60	23	640
かなり必要	27	146	175	177	53	46	230	160	94	39	1,147
あるとよい	36	302	369	424	181	65	363	247	206	98	2,291
必要ではない	16	88	141	167	106	10	57	36	36	27	684
無回答		4	12	34	45		3	12	19	22	151
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

6. 遠隔学会参加

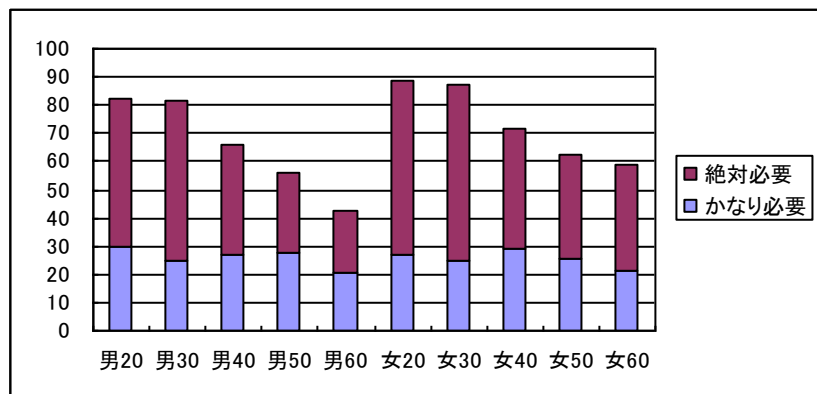


以上の「仕事・キャリア形成に関する6項目」においては、ほとんどの年代で「あるとよい」と回答した人が多かったものの、「かなり必要」と「絶対必要」の合計の割合は棒グラフで示したように、年代間で相当違いが見られるものもあった。特に、男性は年代が進むにつれて「必要ではない」という回答が最も多くなるものもあった。それに対し、女性は年代による変化は男性ほど大きくないのが特徴の1つであった。さらに、女性では専門医等の認定期間の延長、再教育制度、遠隔学会参加に対する必要度が高く、これらの制度が充実し普及することが求められていることがわかった。

<勤務環境に関する項目：3項目>

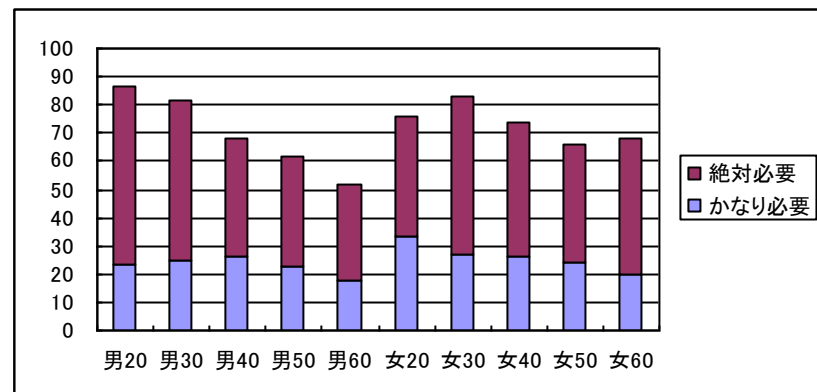
1. 労働条件の 明確化	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
絶対必要	48	342	300	250	93	88	507	246	151	78	2,103
かなり必要	27	151	203	244	84	39	201	169	107	45	1,270
あるとよい	16	101	190	227	93	14	95	125	106	45	1,012
必要ではない		10	64	124	96	2	8	29	38	19	390
無回答		3	5	35	47		3	10	13	22	138
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

1. 労働条件の明確化



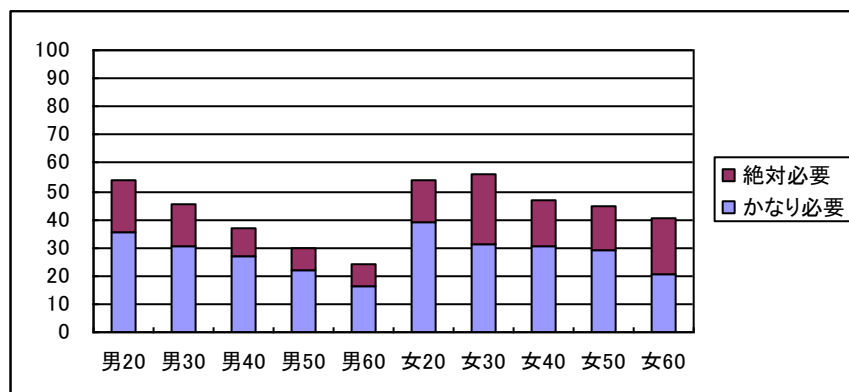
2. 身分の 明確化	性別 × 年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
絶対必要	58	342	321	345	142	61	458	277	175	100	2,279
かなり必要	21	152	199	200	73	48	218	151	99	42	1,203
あるとよい	10	91	158	165	65	29	119	106	89	25	857
必要ではない	1	19	74	126	85	5	13	32	33	17	405
無回答	1	3	10	44	48		6	13	19	25	169
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

2. 身分の明確化



3. 人材ネット ワーク	性別 × 年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
絶対必要	17	89	79	73	31	21	202	94	65	42	713
かなり必要	32	186	203	192	68	56	256	175	120	43	1,331
あるとよい	37	271	342	367	142	57	315	238	155	71	1,995
必要ではない	4	53	125	205	123	7	35	57	50	25	684
無回答	1	8	13	43	49	2	6	15	25	28	190
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

3. 人材ネットワーク

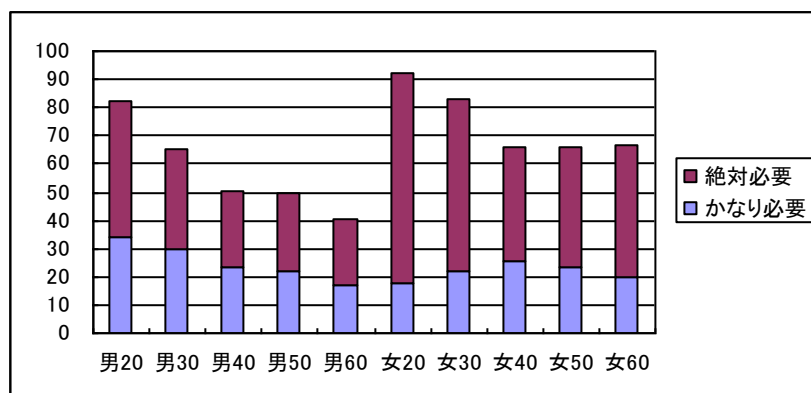


以上の「勤務環境に関する3項目」においては、労働条件の明確化と身分の明確化について、男女共いずれの年代も「絶対必要」と回答した人が圧倒的に多かった。人材ネットワークは若い年代に必要とされる傾向が見られた。

＜育児支援・介護支援に関する項目：6項目＞

1. 育児施設	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
絶対必要	44	218	205	243	95	107	498	232	177	97	1,916
かなり必要	31	179	180	193	71	25	178	148	97	42	1,144
あるとよい	13	156	198	195	85	9	110	119	61	23	969
必要ではない	3	49	162	198	112	2	25	66	57	26	700
無回答		5	17	51	50		3	14	23	21	184
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

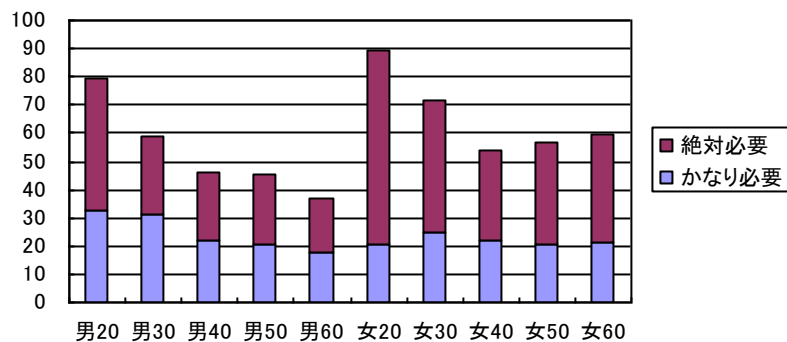
1. 育児施設



2. 夜間保育システム	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
絶対必要	42	168	180	220	79	99	378	185	150	80	1,581

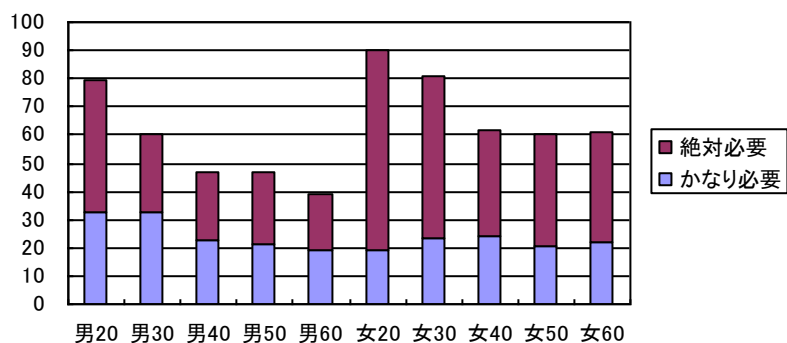
かなり必要	30	189	170	178	73	29	203	126	86	44	1,128
あるとよい	13	174	216	219	97	12	175	159	84	33	1,182
必要ではない	6	72	182	216	113	3	56	93	71	30	842
不明		4	14	47	51		2	16	24	22	180
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

2. 夜間保育システム



3. 病児保育システム	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
絶対必要	42	169	185	222	84	102	467	220	165	82	1,738
かなり必要	30	199	171	187	78	27	191	138	85	46	1,152
あるとよい	12	167	214	211	87	12	120	136	82	31	1,072
必要ではない	7	68	177	212	114	2	34	71	60	29	774
無回答		4	15	48	50		2	14	23	21	177
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

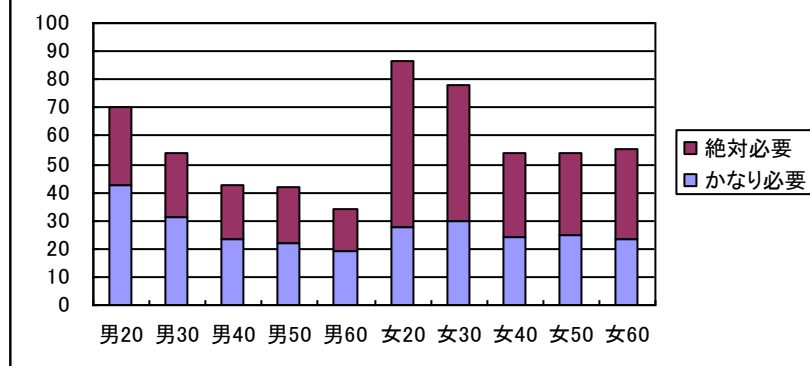
3. 病児保育システム



4. 職場内の学 童保育施設	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
絶対必要	25	139	145	171	62	84	391	175	120	66	1,378
かなり必要	39	190	177	195	78	40	242	139	104	49	1,253

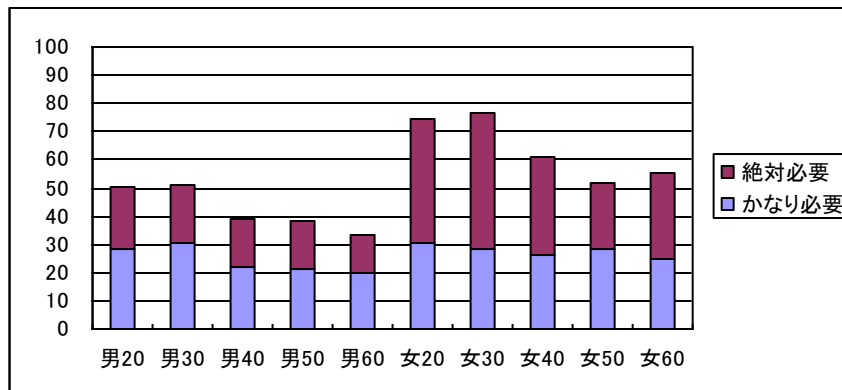
あるとよい	21	204	237	246	101	16	145	158	92	43	1,263
必要ではない	6	69	189	219	119	3	31	90	74	29	829
無回答		5	14	49	53		5	17	25	22	190
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

4. 職場内の学童 保育施設



5. 学会の託児 所設置	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
絶対必要	20	126	131	150	54	62	393	202	97	64	1,299
かなり必要	26	184	165	185	83	44	231	152	118	52	1,240
あるとよい	32	214	268	283	104	35	163	136	107	43	1,385
必要ではない	13	78	183	213	120	2	24	72	67	26	798
無回答		5	15	49	52		3	17	26	24	191
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

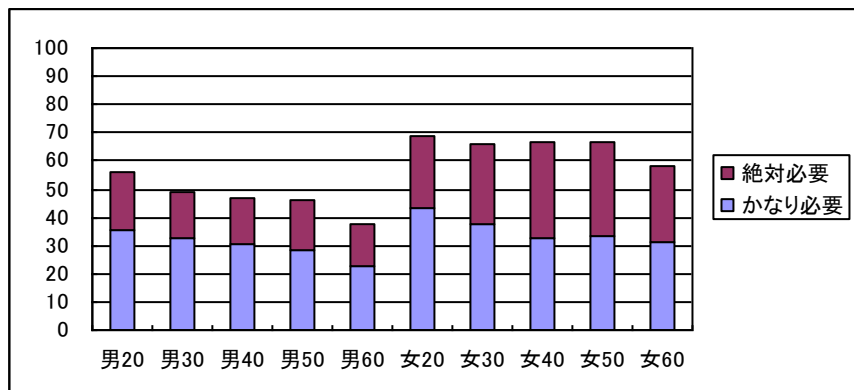
5. 学会の託児所 設置



6. 介護制度の 充実	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
絶対必要	19	99	124	157	62	36	232	198	138	57	1,122
かなり必要	32	200	234	250	94	62	306	187	138	65	1,568

あるとよい	32	236	262	269	113	40	241	142	88	47	1,470
必要ではない	8	64	127	153	96	4	29	34	31	16	562
無回答		8	15	51	48	1	6	18	20	24	191
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

6. 介護制度の充実

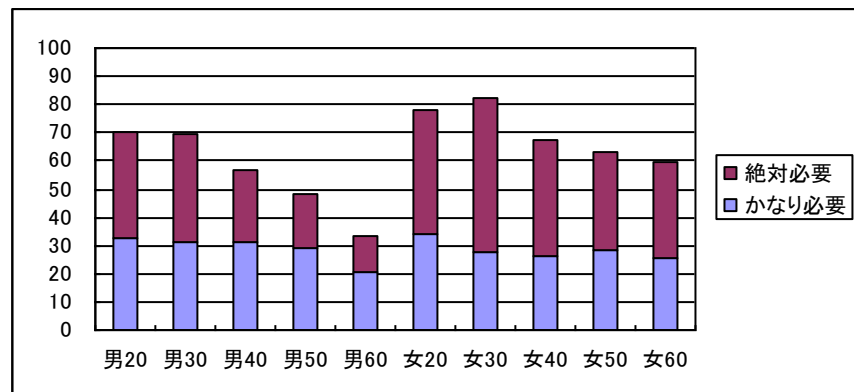


これら「育児支援に関する5項目」においては、女性のほぼ全ての年代で「絶対必要」と回答した人が最も多かった。また、男性の50歳代までは、育児施設を「絶対必要」と回答した人が最も多かった。しかし、他の項目になると、20歳代男性では「絶対必要」の回答が最も多いものの、年代が上がるにつれてその必要度が下がる傾向が示された。この結果から、若い世代の男性は自ら育児に関わり、女性と同じように支援の必要性を実感している可能性が示唆された。その一方で、50歳代男性において、夜間保育システムや病児保育システムを「絶対必要」とする人が最も多く、これは職場の管理・運営を行う立場の男性医師にも、育児支援の必要性が徐々に浸透しつつあることの表れではないかと考えられた。また、学会の託児所の必要性に関しては男女間に差があり、女性においてその必要性が強く示された。「介護支援に関する1項目」では、年代に関係なく女性の方がより必要性を実感していることが示された。

<人の意識に関する項目：2項目>

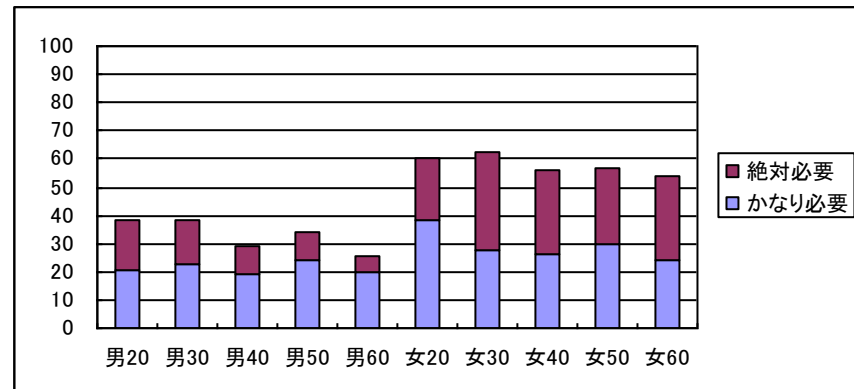
1. 職場の意識 がかわる	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
絶対必要	34	233	193	165	52	63	448	239	144	70	1,641
かなり必要	30	190	240	259	85	49	223	153	118	54	1,401
あるとよい	24	148	219	256	115	26	118	126	87	43	1,162
必要ではない	3	33	98	152	109	5	23	47	44	18	532
無回答		3	12	48	52		2	14	22	24	177
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

1. 職場の意識が
かわる



2. 家族の意識 がかわる	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
絶対必要	16	93	78	87	23	31	280	171	112	62	953
かなり必要	19	139	145	210	83	55	226	152	123	50	1,202
あるとよい	41	260	308	302	128	42	234	166	93	45	1,619
必要ではない	15	110	217	229	129	14	70	77	62	28	951
無回答		5	14	52	50	1	4	13	25	24	188
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

2. 家族の意識が
かわる



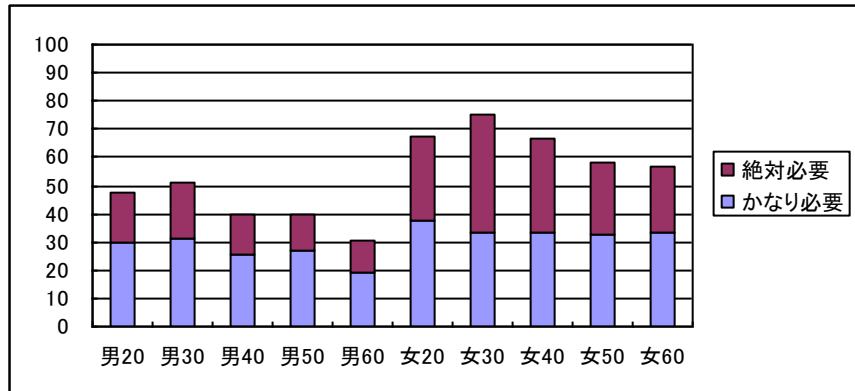
以上の「人の意識に関する2項目」においても、育児・介護支援同様、女性の方が必要性を認識していることがわかる。しかし、職場の意識改革の必要性については、男性も50歳代までは比較的必要性を感じている人が多いことがわかった。

<制度に関する項目：4項目>

1. ワークシェアリング制度	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
絶対必要	16	118	108	111	45	42	341	196	106	50	1,133

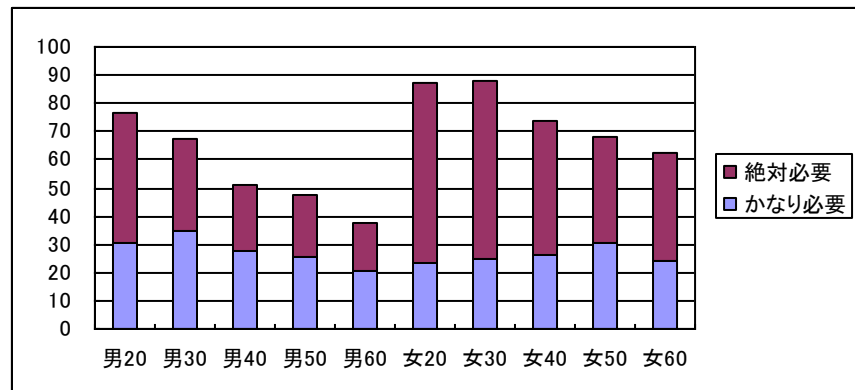
かなり必要	27	190	192	240	80	54	271	192	135	69	1,450
あるとよい	38	233	308	301	130	39	177	136	110	48	1,520
必要ではない	10	63	142	177	107	6	19	41	38	19	622
無回答		3	12	51	51	2	6	14	26	23	188
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

1. ワークシェア リング制度



2. 産休などの 休暇の設定	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
絶対必要	42	198	176	190	69	92	512	276	156	80	1,791
かなり必要	28	213	212	226	85	33	201	152	126	51	1,327
あるとよい	18	154	242	241	99	17	85	105	79	38	1,078
必要ではない	3	37	119	171	105	1	12	32	33	20	533
無回答		5	13	52	55		4	14	21	20	184
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

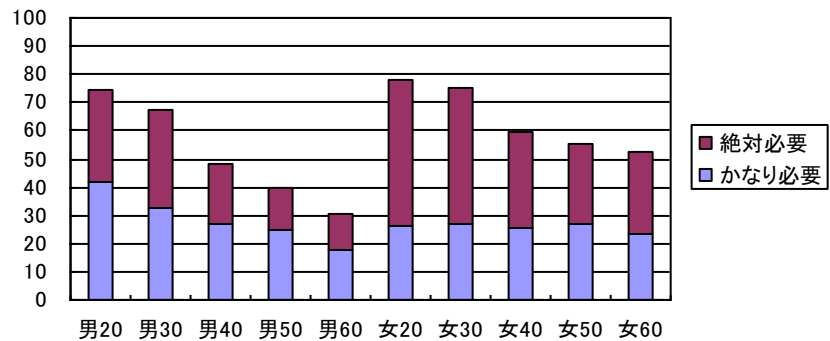
2. 産休などの 休暇の設定



3. 上記休暇取 得の義務付け	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
絶対必要	30	209	158	131	54	74	395	200	119	61	1,431

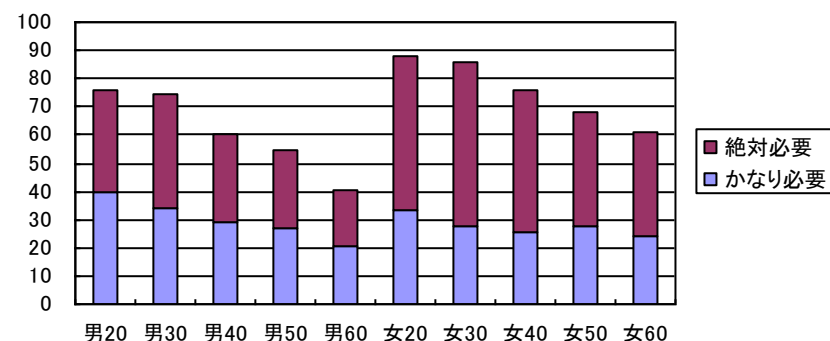
かなり必要	38	199	207	220	73	38	217	146	111	49	1,298
あるとよい	18	142	251	284	123	29	158	163	112	56	1,336
必要ではない	5	54	133	197	112	2	40	55	50	23	671
無回答		3	13	48	51		4	15	23	20	177
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

3. 上記休暇取得 の義務付け



4. 上記休暇中の の代替医師の 確保	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
絶対必要	33	244	234	243	82	78	478	293	166	78	1,929
かなり必要	36	206	224	240	84	48	223	148	116	50	1,375
あるとよい	21	127	213	231	111	15	99	101	84	41	1,043
必要ではない	1	24	79	120	89	2	10	24	28	20	397
無回答		6	12	46	47		4	13	21	20	169
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

4. 上記休暇中の 代替医師の確保

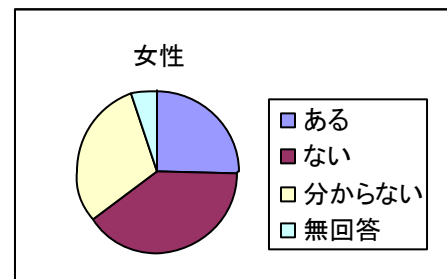
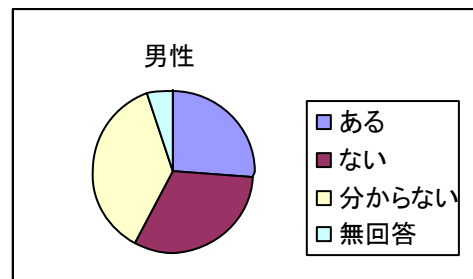


以上の「制度に関する4項目」においても、育児・介護支援、人の意識同様、女性の方が年代に関係なく必要性を認識していることがわかる。男性は、ワークシェアリングについてはいずれの年代も「あるとよい」とし、産休などの休暇の設定やその義務付けは、年代が上がるにつれ必要性の認識が下がる傾向を示した。しかし、その休

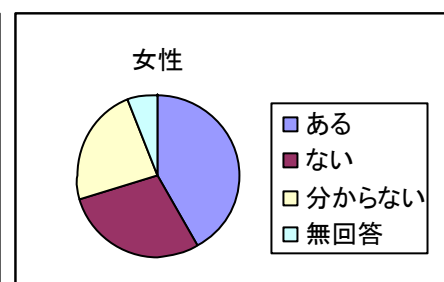
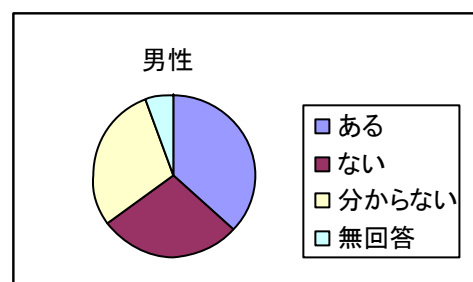
暇中の代替医師の確保については、40、50 歳代の男性も比較的必要性を感じていた。

問30 あなたの職場にその制度（妊娠・出産・育児に関する制度）があるか

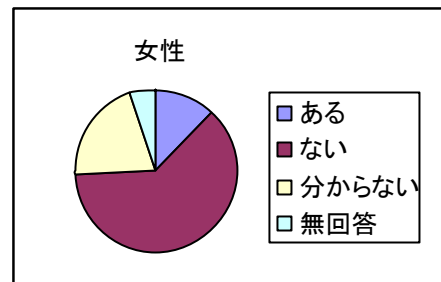
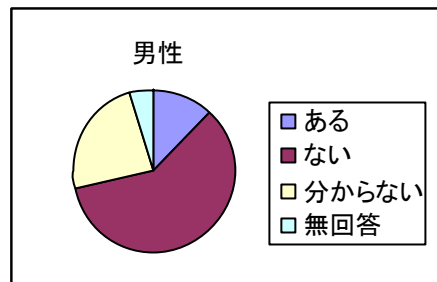
1. 妊娠時の 通勤緩和措置 や健康診断	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
ある	20	126	213	267	102	35	195	136	110	69	1,273
ない	12	108	219	344	170	42	304	227	197	75	1,698
分からない	57	368	315	227	75	65	303	188	83	25	1,706
無回答	2	5	15	42	66	1	12	28	25	40	236
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913



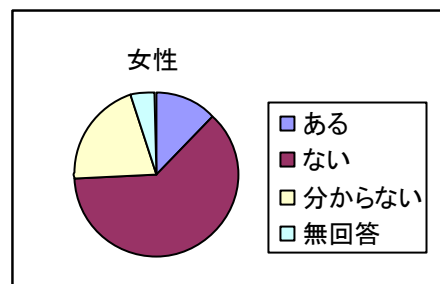
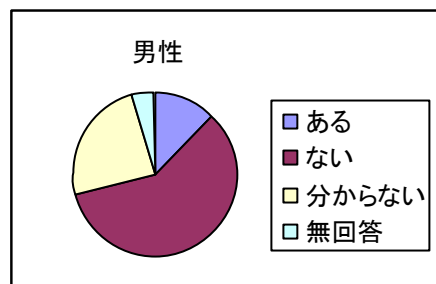
2. 妊娠時の 深夜勤務 (当直) 免除	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
ある	47	266	305	288	105	79	418	208	125	70	1,911
ない	9	74	208	332	156	22	161	189	175	62	1,388
分からない	34	263	228	210	76	42	221	152	78	32	1,336
無回答	1	4	21	50	76		14	30	37	45	278
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913



3. 産休中の 代替要員	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
ある	8	69	83	128	56	10	98	63	58	39	612
ない	44	300	468	567	229	84	523	348	269	105	2,937
分からない	38	234	199	146	63	49	181	141	62	26	1,139
無回答	1	4	12	39	65		12	27	26	39	225
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

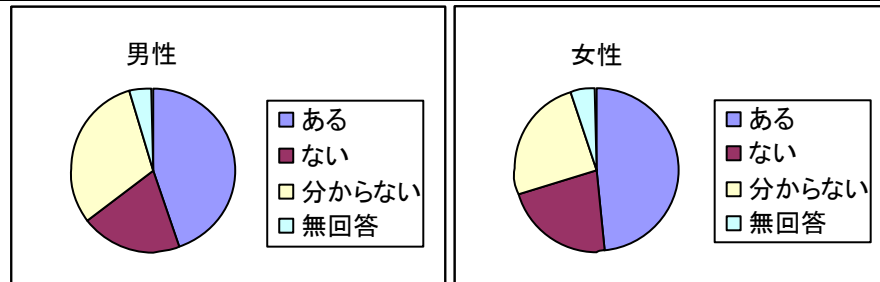


4. 産休中の 給与支払い	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
ある	15	184	324	342	116	44	342	214	162	84	1,827
ない	12	68	143	291	151	31	208	176	155	61	1,296
分からない	63	351	284	208	78	68	251	163	73	28	1,567
無回答	1	4	11	39	68		13	26	25	36	223
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

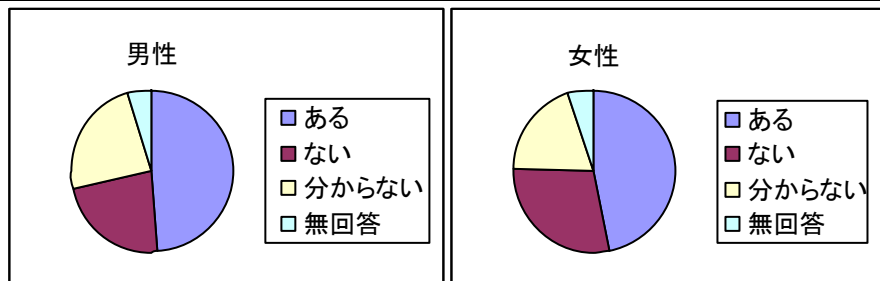


5. 産休中の 身分保障	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
ある	25	222	383	442	153	60	404	258	212	102	2,261
ない	8	60	123	229	129	21	157	146	108	41	1,022
分からない	57	320	246	167	64	62	240	146	70	26	1,398

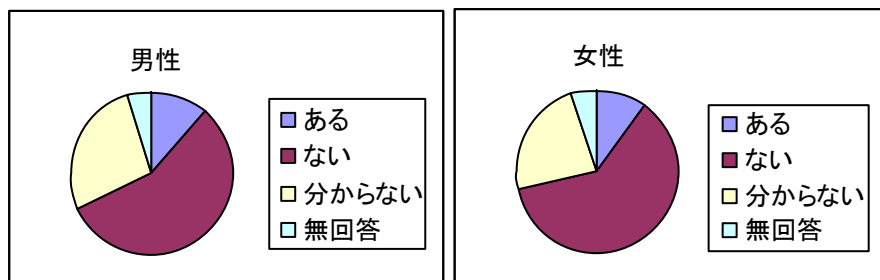
無回答	1	5	10	42	67		13	29	25	40	232
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913



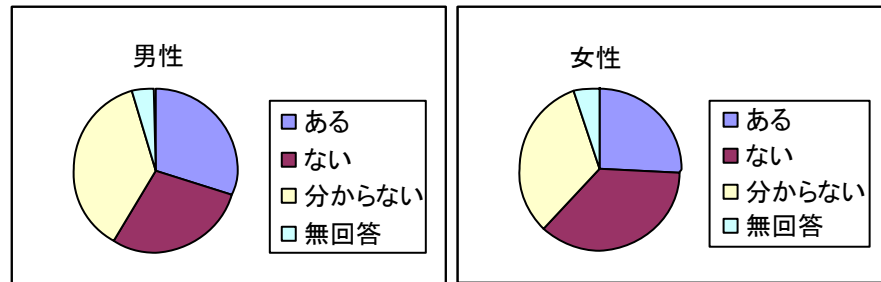
6. 育児休業制度	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
ある	45	288	410	452	142	78	435	249	172	81	2,352
ない	10	67	148	249	148	22	183	185	154	67	1,233
分からない	35	249	191	140	58	43	182	119	63	24	1,104
無回答	1	3	13	39	65		14	26	26	37	224
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913



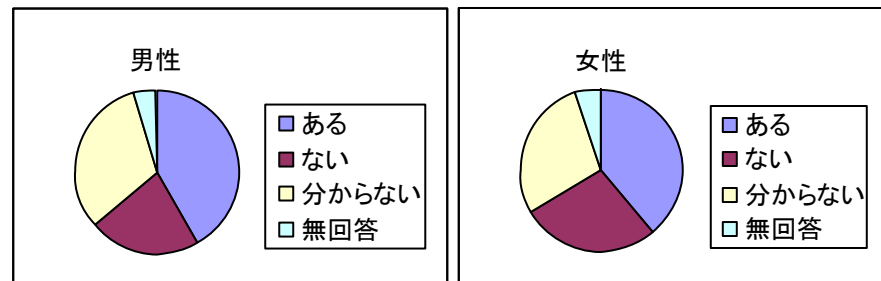
7. 育児休業中の代替要員	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
ある	7	53	79	133	51	6	85	52	44	29	539
ない	42	271	455	539	231	82	507	348	269	109	2,853
分からない	41	280	215	168	65	55	208	152	76	32	1,292
無回答	1	3	13	40	66		14	27	26	39	229
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913



8. 育児休業中の 給与支払い	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
ある	17	165	266	283	98	31	238	130	108	50	1,386
ない	14	83	185	327	167	31	254	227	186	78	1,552
分からない	59	356	299	231	82	81	305	194	96	44	1,747
無回答	1	3	12	39	66		17	28	25	37	228
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

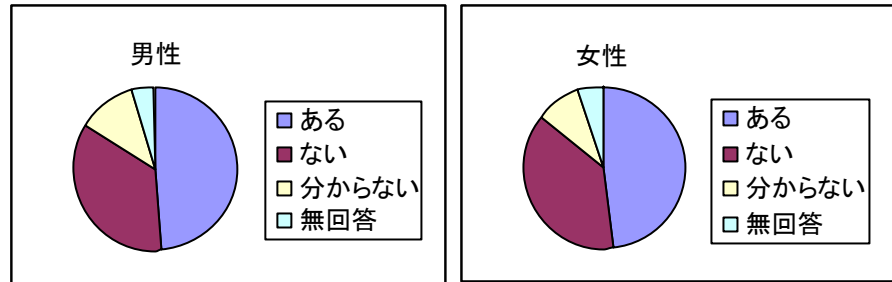


9. 育児休業中の 身分保障	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
ある	24	203	354	421	145	48	326	206	178	78	1,983
ない	10	73	143	239	138	24	201	179	134	57	1,198
分からない	56	327	255	177	65	71	274	167	77	37	1,506
無回答	1	4	10	43	65		13	27	26	37	226
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

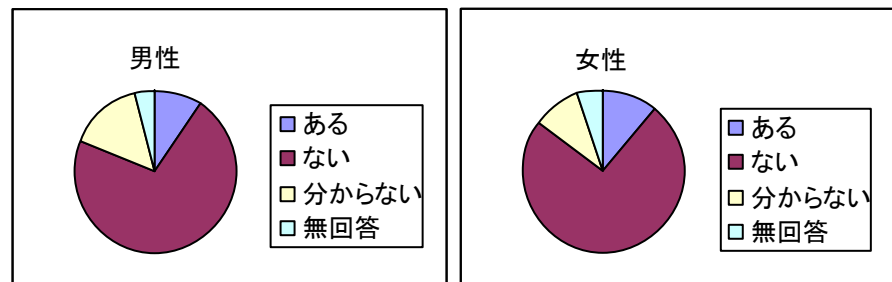


10. 職場内 (近く)の保 育所・託児所	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
ある	64	351	423	369	121	86	490	245	150	66	2,365
ない	14	136	248	397	189	37	240	248	202	87	1,798

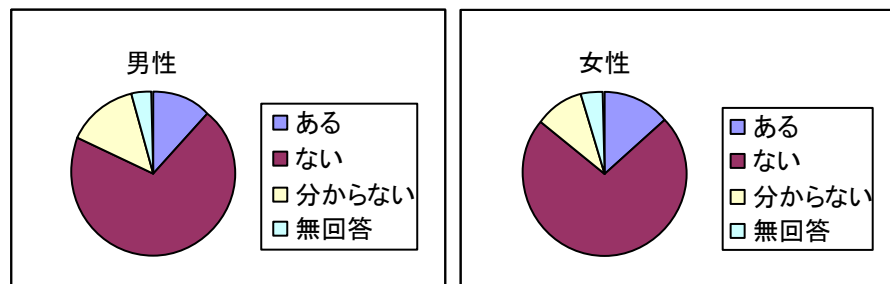
分からない	12	115	79	76	36	20	70	60	38	19	525
無回答	1	5	12	38	67		14	26	25	37	225
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913



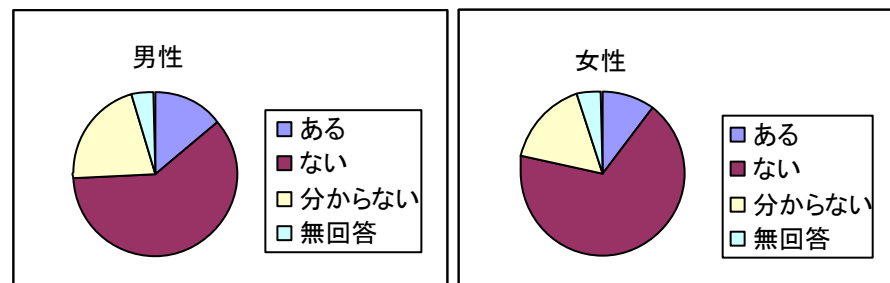
1 1. 夜間保育システム	性別×年齢										Total
	男性	男性	男性	男性	男性	女性	女性	女性	女性	女性	
	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	
ある	10	65	76	91	29	10	126	52	34	21	514
ない	57	395	565	661	282	98	595	444	321	134	3,552
分からない	24	144	110	89	37	35	80	56	35	17	627
無回答		3	11	39	65		13	27	25	37	220
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913



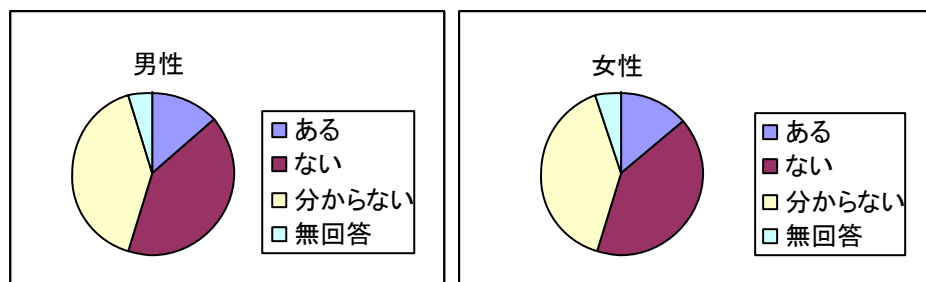
1 2. 病児保育システム	性別×年齢										Total
	男性	男性	男性	男性	男性	女性	女性	女性	女性	女性	
	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	
ある	13	75	94	107	38	21	137	81	36	21	623
ない	51	390	556	658	275	88	593	422	320	132	3,485
分からない	26	139	102	77	36	34	72	50	35	19	590
無回答	1	3	10	38	64		12	26	24	37	215
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913



13. 職場内 (近く)の学童 保育施設	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
ある	15	86	106	138	45	14	76	56	48	32	616
ない	37	308	481	569	250	79	562	421	288	113	3,108
分からない	38	207	164	133	50	50	162	77	54	26	961
無回答	1	6	11	40	68		14	25	25	38	228
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913



14. 介護休業 制度	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
ある	2	57	116	151	54	9	70	102	83	40	684
ない	25	143	281	442	226	33	269	241	224	104	1,988
分からない	63	404	353	249	68	101	460	208	82	26	2,014
無回答	1	3	12	38	65		15	28	26	39	227
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913



以上の14の妊娠・出産・育児・介護に関する制度について、「ある」の回答が「ない」の回答より多い傾向を示したものは、妊娠時の深夜勤務（当直）免除、育児休業制度、産休中・育休中の身分保障、職場内の保育所・託児所だけであった。「ない」の回答が特に多かったものは、産休・育休の代替要員、夜間保育・病児保育システム、学童保育施設であった。また、介護休業制度も「ない」の回答が多かった。これらについては制度の確立が望まれる。一方、これらの制度があるかどうか「分からない」という回答も多かった。次の問31ではそれを自分が実際に利用したかどうかを訊いている。

問31 またそれを自分が実際に利用したか（グラフ：無回答のものを不明と記載）

1. 妊娠時の 通勤緩和措置や 健康診断	性別×年齢										Total
	男性	男性	男性	男性	男性	女性	女性	女性	女性	女性	
	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	
利用した	-	-	-	-	-	7	81	50	37	21	196
利用しなかった	-	-	-	-	-	74	391	304	205	74	1,048
利用できなかった	-	-	-	-	-	7	150	142	118	63	480
無回答	-	-	-	-	-	55	192	83	55	51	436
Total	-	-	-	-	-	143	814	579	415	209	2,160

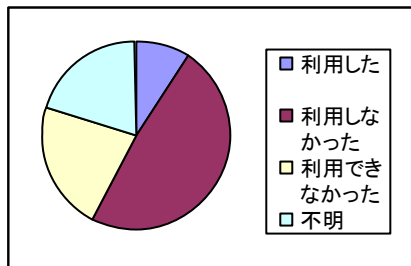
2. 妊娠時の 深夜勤務 （当直）免除	性別×年齢										Total
	男性	男性	男性	男性	男性	女性	女性	女性	女性	女性	
	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	
利用した	-	-	-	-	-	16	210	118	73	41	458
利用しなかった	-	-	-	-	-	67	313	252	181	59	872
利用できなかった	-	-	-	-	-	5	101	119	106	58	389
無回答	-	-	-	-	-	55	190	90	55	51	441
Total	-	-	-	-	-	143	814	579	415	209	2,160

3. 産休中の 代替要員	性別×年齢										Total
	男性	男性	男性	男性	男性	女性	女性	女性	女性	女性	
	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	
利用した	-	-	-	-	-	2	64	56	53	31	206
利用しなかった	-	-	-	-	-	70	335	264	165	66	900
利用できなかった	-	-	-	-	-	16	215	174	145	61	611
無回答	-	-	-	-	-	55	200	85	52	51	443
Total	-	-	-	-	-	143	814	579	415	209	2,160

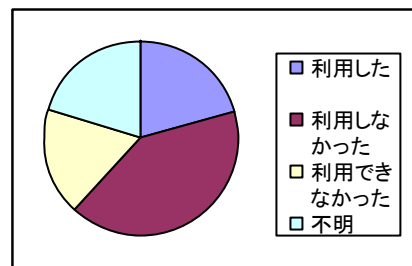
4. 産休中の 給与支払い	性別×年齢										Total
	男性	男性	男性	男性	男性	女性	女性	女性	女性	女性	
	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	
利用した	-	-	-	-	-	11	199	139	118	56	523
利用しなかった	-	-	-	-	-	68	289	224	138	61	780
利用できなかった	-	-	-	-	-	9	131	132	108	44	424
無回答	-	-	-	-	-	55	195	84	51	48	433
Total	-	-	-	-	-	143	814	579	415	209	2,160

5. 産休中の 身分保障	性別×年齢										Total
	男性	男性	男性	男性	男性	女性	女性	女性	女性	女性	
	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	
利用した	-	-	-	-	-	14	231	159	142	69	615
利用しなかった	-	-	-	-	-	67	284	221	131	53	756
利用できなかった	-	-	-	-	-	7	105	115	91	40	358
無回答	-	-	-	-	-	55	194	84	51	47	431
Total	-	-	-	-	-	143	814	579	415	209	2,160

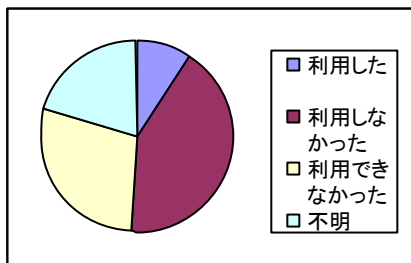
1. 妊娠時の通勤緩和措置や健康診断（女性）



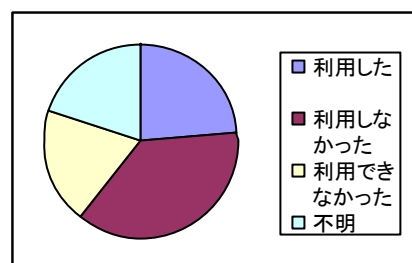
2. 妊娠時の深夜勤務（当直）免除（女性）



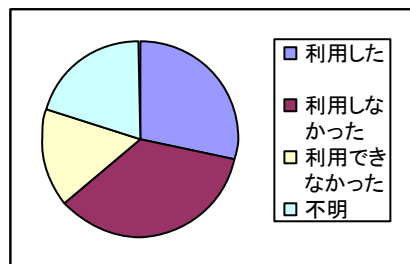
3. 産休中の代替要員（女性）



4. 産休中の給与の支払い（女性）

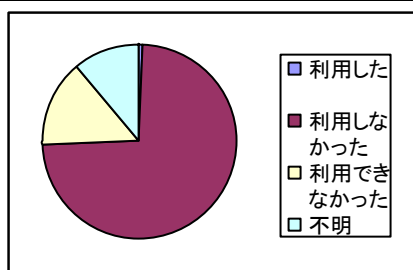


5. 産休中の身分保障
（女性）

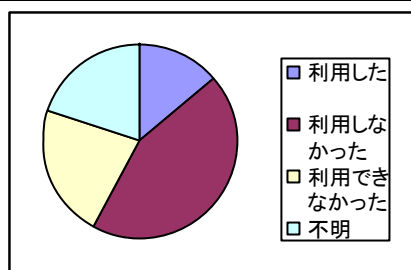


6. 育児休業中の代替要員	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
利用した	1	1	2	4	4	1	52	32	17	8	122
利用しなかった	68	443	548	666	276	73	351	276	198	77	2,976
利用できなかった	5	97	143	129	60	14	208	185	143	68	1,052
無回答	17	66	69	81	73	55	203	86	57	56	763
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

男性

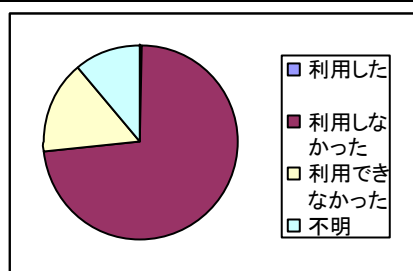


女性

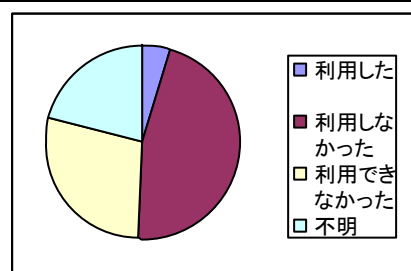


7. 育児休業中の給与支払い	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
利用した	1	6	9	10	5	6	123	55	28	13	256
利用しなかった	68	453	556	659	270	71	334	271	191	75	2,948
利用できなかった	5	82	124	120	60	11	160	164	135	64	925
無回答	17	66	73	91	78	55	197	89	61	57	784
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

男性

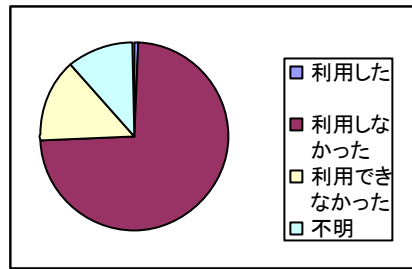


女性

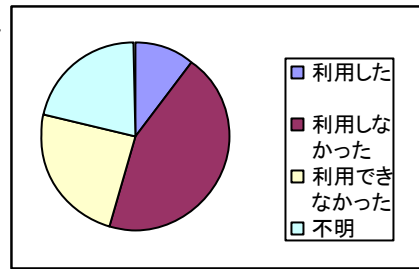


8. 育児休業中の身分保障	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
利用した	1	9	12	12	10	10	170	89	43	24	380
利用しなかった	68	451	551	662	270	69	319	256	186	75	2,907
利用できなかった	5	80	125	116	55	9	129	147	125	53	844
無回答	17	67	74	90	78	55	196	87	61	57	782
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

男性

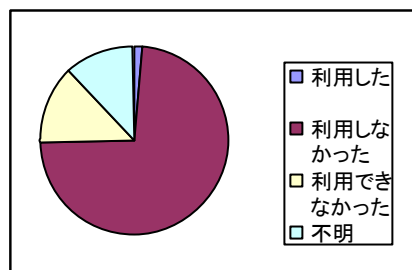


女性

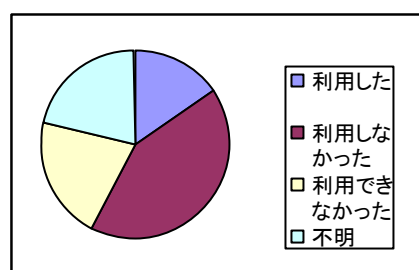


9. 育児休業中の身分保障	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
利用した	1	9	12	12	10	10	170	89	43	24	380
利用しなかった	68	451	551	662	270	69	319	256	186	75	2,907
利用できなかった	5	80	125	116	55	9	129	147	125	53	844
不明	17	67	74	90	78	55	196	87	61	57	782
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

男性

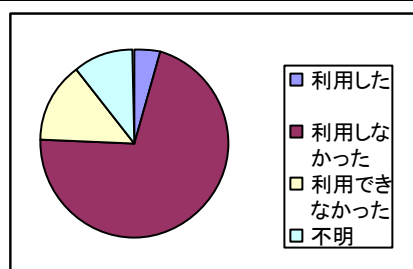


女性

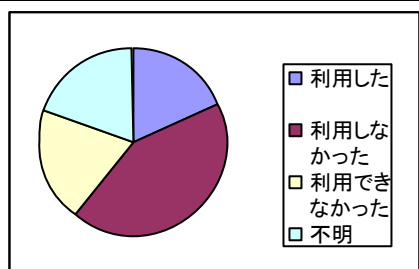


10. 職場内(近く)の保育所・託児所	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
利用した	1	33	44	30	13	13	152	116	71	42	515
利用しなかった	67	434	536	654	277	70	341	264	177	61	2,881
利用できなかった	6	76	122	118	51	4	133	115	117	56	798
不明	17	64	60	78	72	56	188	84	50	50	719
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

男性

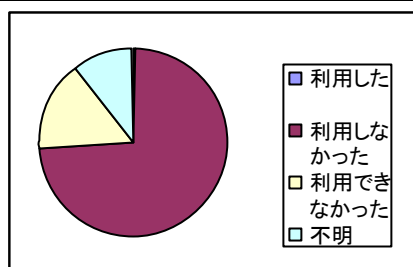


女性

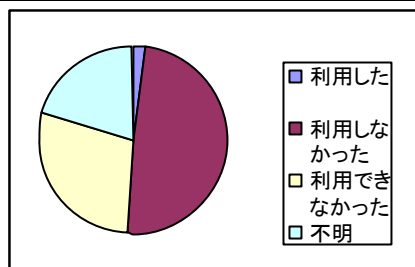


11. 夜間保育システム	性別×年齢										Total
	男性	男性	男性	男性	男性	女性	女性	女性	女性	女性	
	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	
利用した		5	3	6	2	4	18	13	7	4	62
利用しなかった	68	446	550	667	278	72	393	302	213	76	3,065
利用できなかった	6	91	149	127	61	11	206	179	142	77	1,049
不明	17	65	60	80	72	56	197	85	53	52	737
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

男性

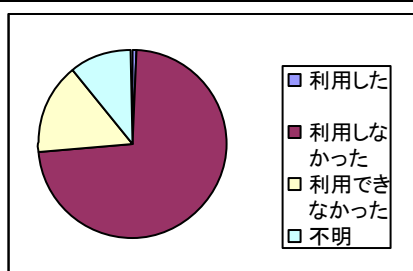


女性

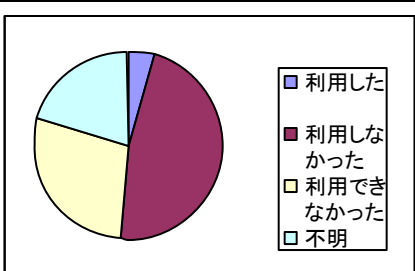


12. 病児保育システム	性別×年齢										Total
	男性	男性	男性	男性	男性	女性	女性	女性	女性	女性	
	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	
利用した		9	12	5	2	6	53	30	6	3	126
利用しなかった	68	442	540	664	276	71	361	290	213	75	3,000
利用できなかった	6	90	149	130	62	10	203	174	144	79	1,047
無回答	17	66	61	81	73	56	197	85	52	52	740
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

男性

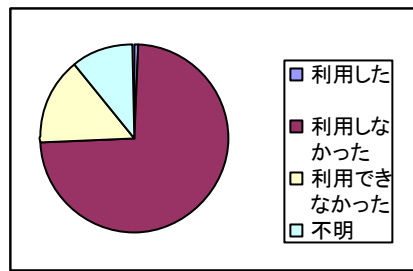


女性

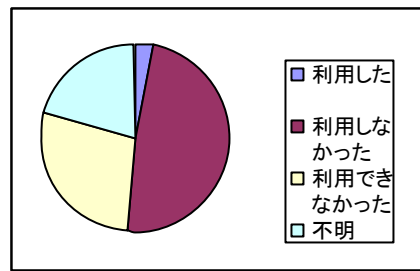


13. 職場内（近く）の学童保育施設	性別×年齢										Total
	男性	男性	男性	男性	男性	女性	女性	女性	女性	女性	
	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	
利用した		8	7	13	6		10	27	17	10	98
利用しなかった	68	449	544	667	275	75	394	287	209	79	3,047
利用できなかった	6	84	150	122	59	12	204	180	135	70	1,022
無回答	17	66	61	78	73	56	206	85	54	50	746
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

男性

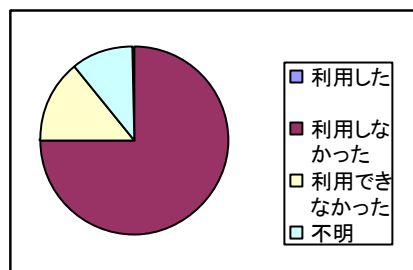


女性

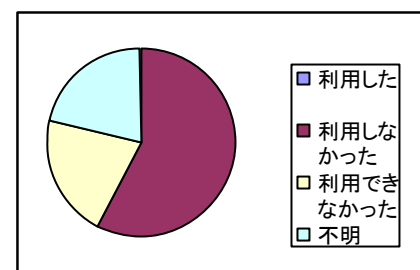


14. 介護休業制度	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
利用した		3	1	3	3			6	2		18
利用しなかった	69	455	567	679	277	78	477	361	228	82	3,273
利用できなかった	5	82	127	123	62	7	122	131	127	75	861
無回答	17	67	67	75	71	58	215	81	58	52	761
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

男性



女性

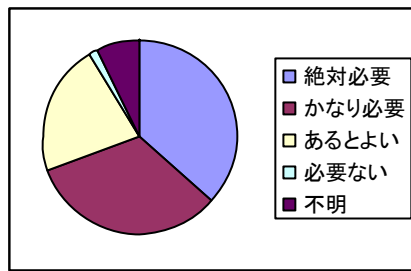


男女共に、全項目のほとんどの年代において、「利用しなかった」の回答が多く、「利用できなかった」がそれに続くことも多かった。この中には、制度そのものがない、または子供がいないため利用する必要がない場合も含まれるが、制度があり子供がいても必ずしも利用につながるわけではないことが示されている。

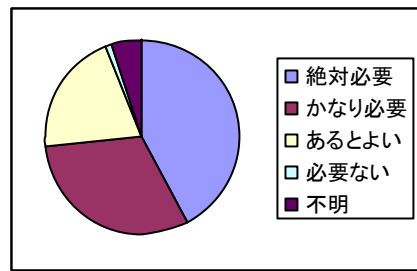
問 32 またそれは一般的に必要だと思うか（グラフ：無回答のものを不明と記載）

1. 妊娠時の 通勤緩和措置 や健康診断	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
絶対必要	44	255	285	309	117	61	375	241	146	82	1,915
かなり必要	29	205	253	287	119	53	262	173	125	57	1,563
あるとよい	14	125	172	205	100	23	154	128	113	36	1,070
必要ではない		6	11	12	9	1	4	10	5	3	61
無回答	4	16	41	67	68	5	19	27	26	31	304
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

男性

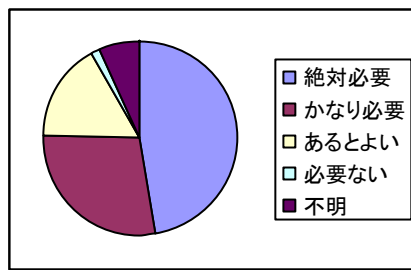


女性

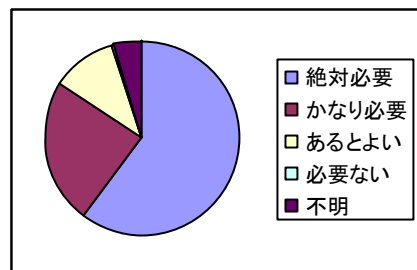


2. 妊娠時の 深夜勤務 （当直）免除	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
絶対必要	57	323	381	403	138	79	545	349	207	112	2,594
かなり必要	23	179	209	239	119	50	187	133	112	45	1,296
あるとよい	8	81	127	160	78	9	62	65	71	24	685
必要ではない		9	9	13	11		3	7	1	1	54
無回答	3	15	36	65	67	5	17	25	24	27	284
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

男性

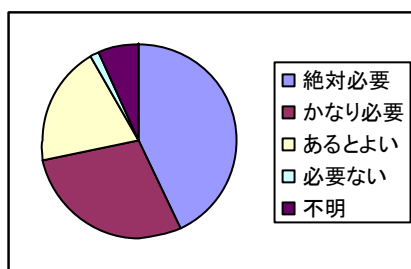


女性

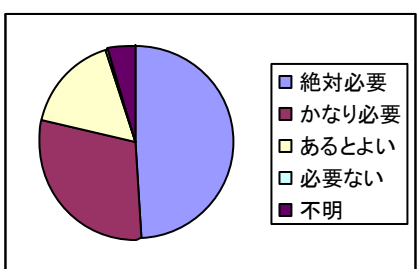


3. 産休中の 代替要員	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
絶対必要	43	285	344	367	140	62	414	288	193	98	2,234
かなり必要	28	182	220	260	107	49	249	179	112	52	1,438
あるとよい	16	119	150	176	89	27	132	80	83	31	903
必要ではない	1	6	12	13	10		1	8	2	1	54
無回答	3	15	36	64	67	5	18	24	25	27	284
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

男性

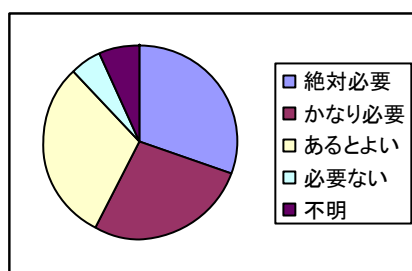


女性

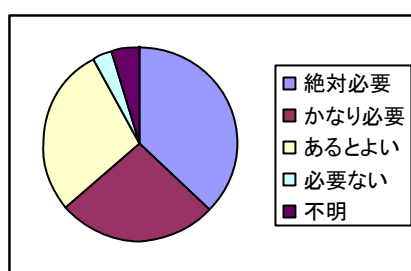


4. 産休中の 給与支払い	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
絶対必要	37	190	236	265	108	41	340	201	141	76	1,635
かなり必要	20	184	204	235	98	50	212	140	112	52	1,307
あるとよい	31	187	240	272	120	41	228	193	121	44	1,477
必要ではない		31	46	42	22	6	16	20	15	9	207
無回答	3	15	36	66	65	5	18	25	26	28	287
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

男性

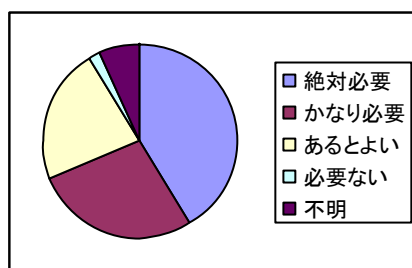


女性

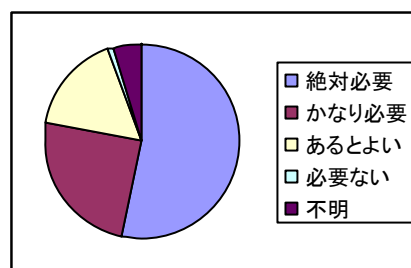


5. 産休中の 身分保障	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
絶対必要	47	256	312	367	146	64	469	288	214	109	2,272
かなり必要	21	185	216	245	97	50	198	139	100	44	1,295
あるとよい	20	142	180	187	96	24	128	116	77	27	997
必要ではない		9	18	14	9		2	10		1	63
無回答	3	15	36	67	65	5	17	26	24	28	286
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

男性



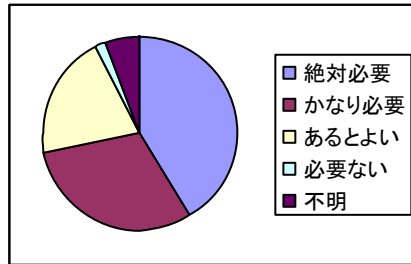
女性



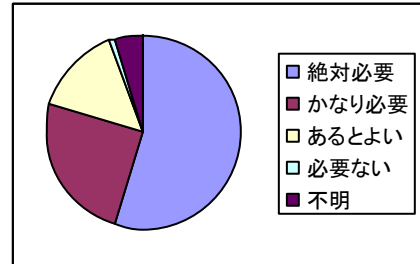
6. 育児休業 制度	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
絶対必要	56	297	310	330	143	94	545	285	162	91	2,313
かなり必要	25	185	246	276	107	36	168	166	119	51	1,379
あるとよい	9	108	167	200	86	8	82	96	103	37	896

必要ではない		6	17	16	10		2	6	4	2	63
無回答	1	11	22	58	67	5	17	26	27	28	262
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

男性

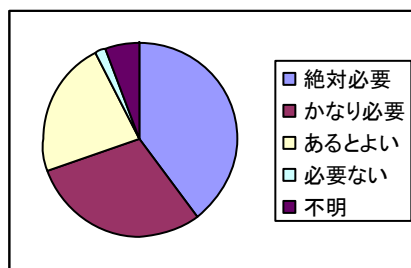


女性

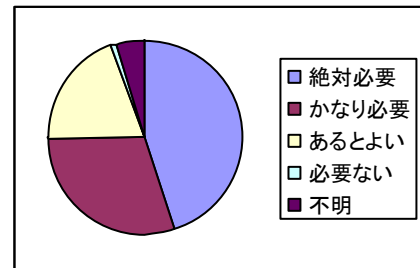


7. 育児休業中の の代替要員	性別×年齢										Total
	男性	男性	男性	男性	男性	女性	女性	女性	女性	女性	
	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	
絶対必要	44	263	323	330	131	58	415	256	158	85	2,063
かなり必要	28	198	232	260	101	53	239	181	113	50	1,455
あるとよい	18	129	175	216	101	27	141	108	116	42	1,073
必要ではない	1	6	12	17	11		1	10	3	3	64
無回答		11	20	57	69	5	18	24	25	29	258
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

男性

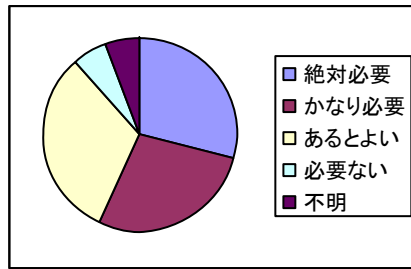


女性

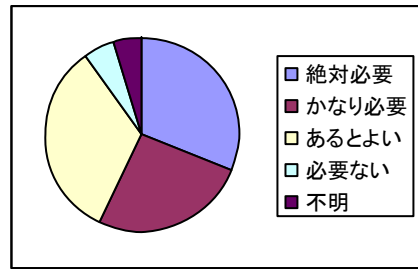


8. 育児休業中の の給与支払い	性別×年齢										Total
	男性	男性	男性	男性	男性	女性	女性	女性	女性	女性	
	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	
絶対必要	39	195	228	236	103	40	323	155	99	54	1,472
かなり必要	25	179	213	230	102	55	218	140	93	47	1,302
あるとよい	27	192	248	304	111	36	232	224	168	60	1,602
必要ではない		29	53	51	31	7	23	35	29	20	278
無回答		12	20	59	66	5	18	25	26	28	259
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

男性

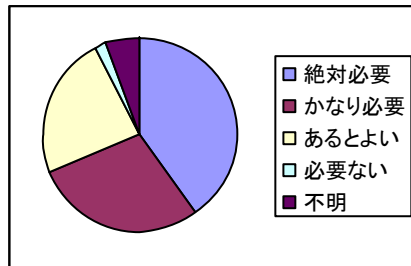


女性

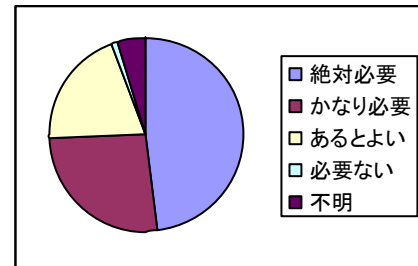


9. 育児休業中の の身分保障	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
絶対必要	50	259	300	352	137	65	446	259	180	87	2,135
かなり必要	25	186	232	242	105	54	202	153	98	54	1,351
あるとよい	16	144	191	216	92	19	143	129	108	35	1,093
必要ではない		7	19	13	12		4	13	3	5	76
無回答		11	20	57	67	5	19	25	26	28	258
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

男性

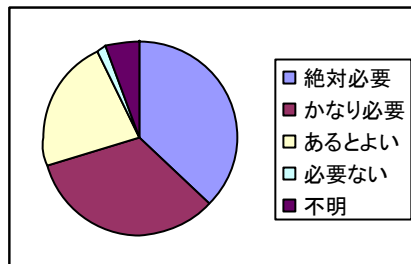


女性

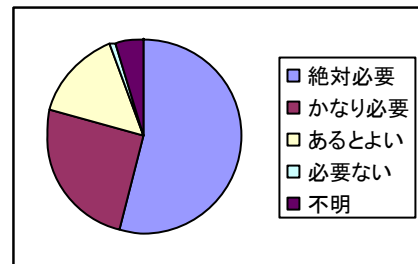


10. 職場内 (近く)の保育 所・託児所	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
絶対必要	56	254	279	326	109	88	508	280	191	89	2,180
かなり必要	27	205	272	271	126	37	188	163	116	51	1,456
あるとよい	8	131	179	209	99	13	97	105	81	40	962
必要ではない		6	12	17	12		4	6	1	1	59
無回答		11	20	57	67	5	17	25	26	28	256
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

男性

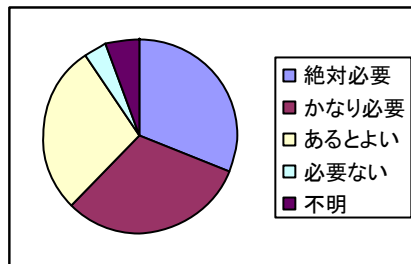


女性

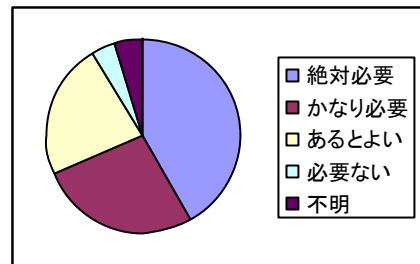


1 1. 夜間保育システム	性別×年齢										Total
	男性	男性	男性	男性	男性	女性	女性	女性	女性	女性	
	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	
絶対必要	47	211	235	266	97	70	393	199	157	78	1,753
かなり必要	31	182	258	263	120	52	206	155	119	48	1,434
あるとよい	10	181	222	257	110	16	165	166	96	49	1,272
必要ではない	3	22	27	38	20		33	33	18	7	201
無回答		11	20	56	66	5	17	26	25	27	253
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

男性

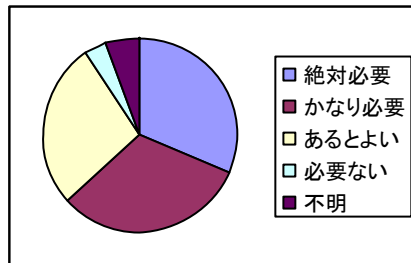


女性

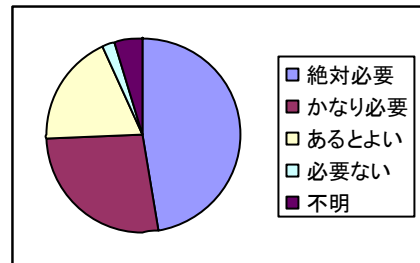


1 2. 病児保育システム	性別×年齢										Total
	男性	男性	男性	男性	男性	女性	女性	女性	女性	女性	
	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	
絶対必要	44	215	231	273	98	74	456	230	173	86	1,880
かなり必要	34	183	257	272	125	48	200	171	118	43	1,451
あるとよい	12	177	226	246	106	16	126	127	91	49	1,176
必要ではない	1	21	28	32	18		13	26	8	4	151
無回答		11	20	57	66	5	19	25	25	27	255
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

男性



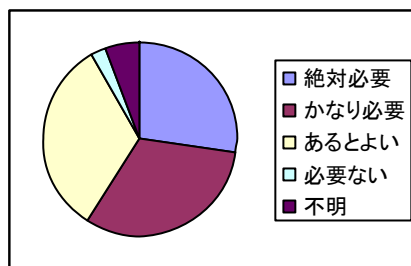
女性



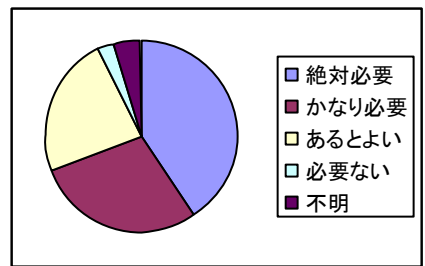
1 3. 職場内(近く)の学童保育施設	性別×年齢										Total
	男性	男性	男性	男性	男性	女性	女性	女性	女性	女性	
	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	
絶対必要	35	188	205	236	85	63	387	205	146	73	1,623
かなり必要	35	187	251	273	123	51	233	159	119	50	1,481

あるとよい	20	209	267	286	122	23	160	167	110	56	1,420
必要ではない	1	12	18	27	14		16	22	14	3	127
無回答		11	21	58	69	6	18	26	26	27	262
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

男性

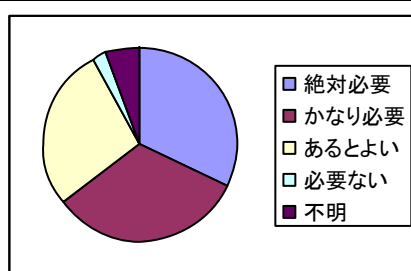


女性

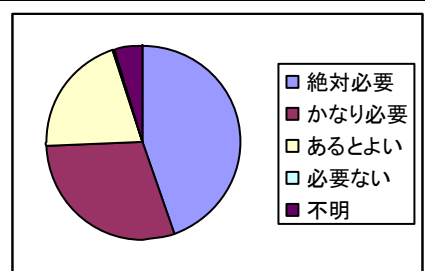


14. 介護休業制度	性別×年齢										Total
	男性	男性	男性	男性	男性	女性	女性	女性	女性	女性	
	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	
絶対必要	39	210	258	277	104	59	400	270	169	67	1,853
かなり必要	31	207	246	290	110	53	235	160	125	57	1,514
あるとよい	20	167	223	239	118	25	157	122	97	54	1,222
必要ではない	1	12	14	18	15		1	3	2	3	69
無回答		11	21	56	66	6	21	24	22	28	255
Total	91	607	762	880	413	143	814	579	415	209	4,913

男性



女性



まず女性の回答については、ほとんどの項目の全ての年代において、「絶対必要」と回答した人が最も多く、「かなり必要」がそれに続いた。例外として、産休中の給与の支払いと育児中の給与の支払いがあり、「絶対必要」と「あるとよい」に分散する傾向が見られた。一方、男性の回答では、20、30歳代は全ての項目で「絶対必要」と回答した人が最も多く、女性の回答に近い結果を示した。男性の40歳代以降も8項目では「絶対必要」と回答した人が最も多かったものの、夜間保育システム、病児保育システム、職場内学童保育施設、職場内保育所・託児所や介護休業制度では必要度が若干下がった。男性は年代により必要性の感じ方にバラつきがあることがわかった。

<以降は子どもがある人への質問>

問33 通常の勤務中、子どもはどうしているか（あてはまるものすべて）

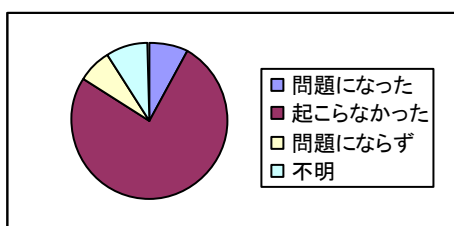
	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
学童保育		22	49	43	6		57	114	69	28	388
認可保育園	1	77	56	37	18	5	200	105	87	59	645
無認可保育園	1	24	18	15	6	5	86	25	29	23	232
託児所	2	12	5	3	3	3	57	14	16	11	126
両親	2	48	73	64	18	5	153	149	134	63	709
配偶者	22	316	492	430	139	1	43	33	29	16	1,521
親戚・兄弟姉妹		8	18	13	2		12	39	19	18	129
友人・知人・隣人	1	7	13	13	6		13	34	40	30	157
ベビーシッター		6	11	13	6	1	49	65	94	49	294
ファミリーサポートセンター		5	3	4	1		28	19	3		63
一人で在宅		12	94	116	12		25	202	115	23	599
その他	1	15	47	156	101	1	32	35	54	20	462
Total	30	552	879	907	318	21	755	834	689	340	5,325

20、30、60 歳代の女性は、保育園や両親という回答が多く、40、50 歳代の女性は、両親か一人で在宅（子供は学童児を含む）という回答が多かった。一方、男性は全ての年代で配偶者という回答が最も多く、「問 4 主に家事をしている者」の結果と同様であった。男性医師の場合は、育児を含めた家事全般を配偶者に任せているケースが多いことが示唆された。

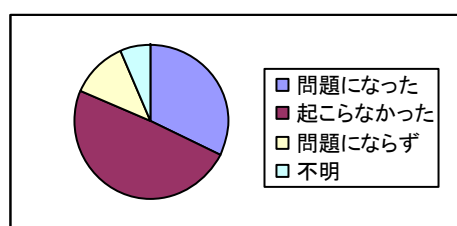
問 34 勤務に当たって次のことは問題になったか

1. 認可保育園 の入所	性別×年齢										Total
	男性 20代	男性 30代	男性 40代	男性 50代	男性 60代	女性 20代	女性 30代	女性 40代	女性 50代	女性 60代	
問題になった	5	66	50	51	15	4	169	131	93	55	639
問題は起こらなかった	18	310	556	625	232	7	185	214	194	77	2,418
起こったが問題にならず		25	41	61	26	3	51	59	38	18	322
無回答	2	12	20	69	107	4	26	13	19	26	298
Total	25	413	667	806	380	18	431	417	344	176	3,677

男性

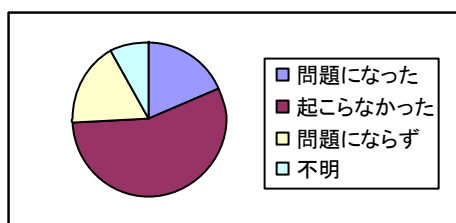


女性

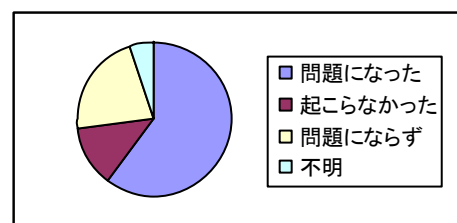


2. 子供の急病時の対応	性別×年齢										Total
	男性	男性	男性	男性	男性	女性	女性	女性	女性	女性	
	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	
問題になった	7	117	140	132	36	12	287	278	173	77	1,259
問題は起こらなかった	14	219	385	459	180	1	40	36	62	37	1,433
起こったが問題にならず	2	69	129	156	61		79	94	98	40	728
無回答	2	8	13	59	103	5	25	9	11	22	257
Total	25	413	667	806	380	18	431	417	344	176	3,677

男性

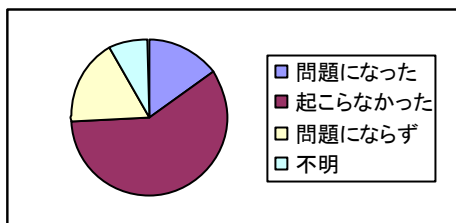


女性

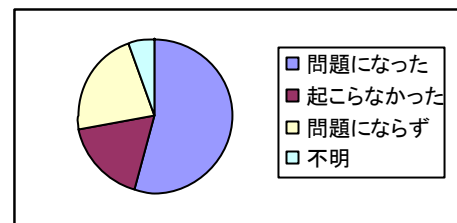


3. 子供の感染症	性別×年齢										Total
	男性	男性	男性	男性	男性	女性	女性	女性	女性	女性	
	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	
問題になった	7	98	124	99	29	8	252	261	154	73	1,105
問題は起こらなかった	15	244	400	482	190	5	80	46	81	41	1,584
起こったが問題にならず	1	62	132	163	59		71	100	98	40	726
無回答	2	9	11	62	102	5	28	10	11	22	262
Total	25	413	667	806	380	18	431	417	344	176	3,677

男性

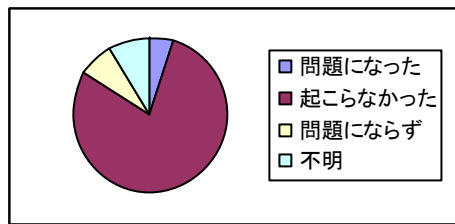


女性

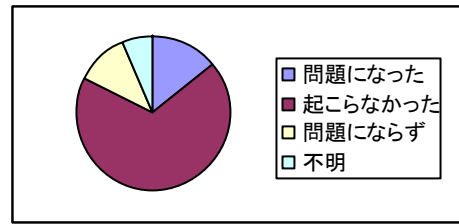


4. 子供の慢性疾患	性別×年齢										Total
	男性	男性	男性	男性	男性	女性	女性	女性	女性	女性	
	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	
問題になった	4	26	34	47	7	4	61	73	42	23	321
問題は起こらなかった	20	360	559	627	240	9	304	290	244	93	2,746
起こったが問題にならず		16	55	70	27		36	42	46	27	319
無回答	1	11	19	62	106	5	30	12	12	33	291
Total	25	413	667	806	380	18	431	417	344	176	3,677

男性

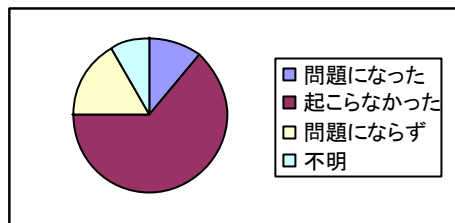


女性

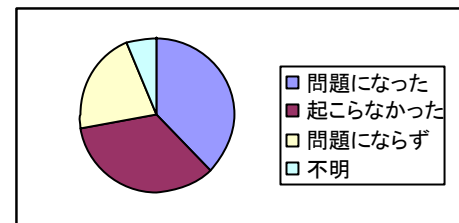


5. 子供の習い事	性別 × 年齢										Total
	男性	男性	男性	男性	男性	女性	女性	女性	女性	女性	
	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	
問題になった	4	55	104	84	16	4	145	213	112	50	787
問題は起こらなかった	19	305	402	510	211	8	209	79	111	67	1,921
起こったが問題にならず		42	148	154	49	1	46	113	110	36	699
無回答	2	11	13	58	104	5	31	12	11	23	270
Total	25	413	667	806	380	18	431	417	344	176	3,677

男性

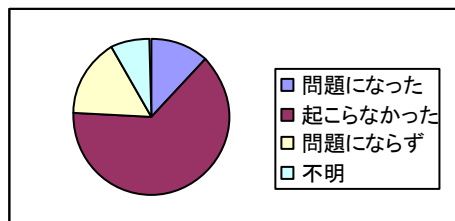


女性

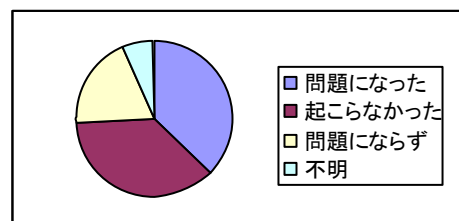


6. 子供の教育	性別 × 年齢										Total
	男性	男性	男性	男性	男性	女性	女性	女性	女性	女性	
	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	
問題になった	3	57	103	97	22	4	131	207	119	55	798
問題は起こらなかった	20	309	417	501	206	8	232	105	103	59	1,960
起こったが問題にならず		35	133	152	49	1	35	91	109	39	644
不明	2	12	14	56	103	5	33	14	13	23	275
Total	25	413	667	806	380	18	431	417	344	176	3,677

男性

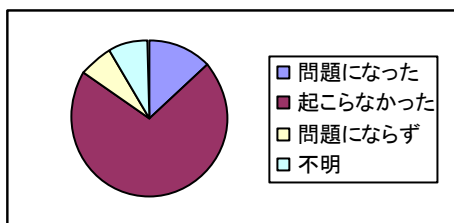


女性

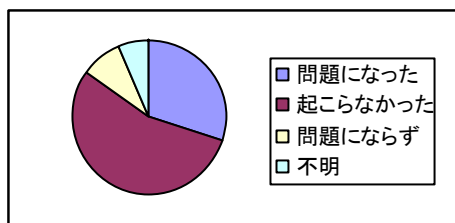


7. 子供の心理的 問題	性別×年齢										Total
	男性	男性	男性	男性	男性	女性	女性	女性	女性	女性	
	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	
問題になった	2	49	80	137	38	2	118	128	108	58	720
問題は起こらなかった	20	342	523	543	204	10	251	246	177	77	2,393
起こったが問題にならず		11	52	70	32	1	26	30	48	16	286
無回答	3	11	12	56	106	5	36	13	11	25	278
Total	25	413	667	806	380	18	431	417	344	176	3,677

男性

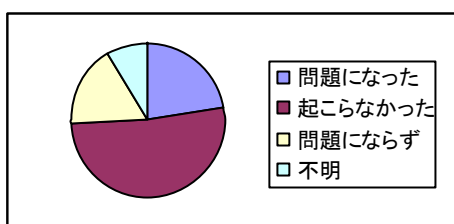


女性

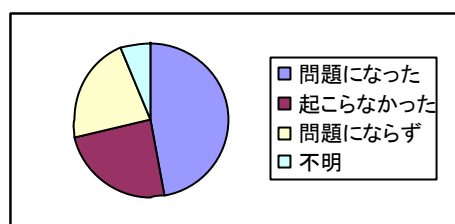


8. 保育園の行事	性別×年齢										Total
	男性	男性	男性	男性	男性	女性	女性	女性	女性	女性	
	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	
問題になった	6	124	202	153	41	5	189	235	158	68	1,181
問題は起こらなかった	17	217	322	433	179	6	134	64	84	44	1,500
起こったが問題にならず		59	130	157	54	1	77	105	90	41	714
無回答	2	13	13	63	106	6	31	13	12	23	282
Total	25	413	667	806	380	18	431	417	344	176	3,677

男性

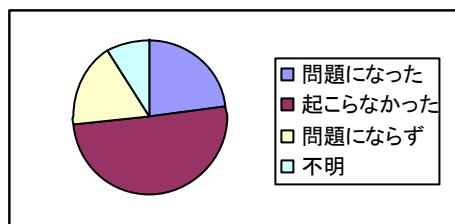


女性

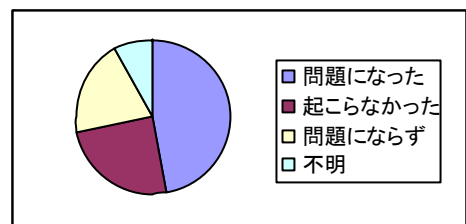


9. 学校の行事	性別×年齢										Total
	男性	男性	男性	男性	男性	女性	女性	女性	女性	女性	
	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	
問題になった	3	91	219	178	44	1	140	250	185	77	1,188
問題は起こらなかった	20	253	291	398	179	10	178	57	56	38	1,480
起こったが問題にならず		50	141	171	51		59	94	91	39	696
無回答	2	19	16	59	106	7	54	16	12	22	313
Total	25	413	667	806	380	18	431	417	344	176	3,677

男性

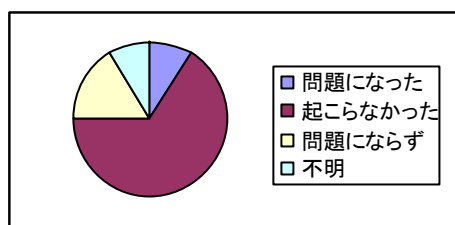


女性

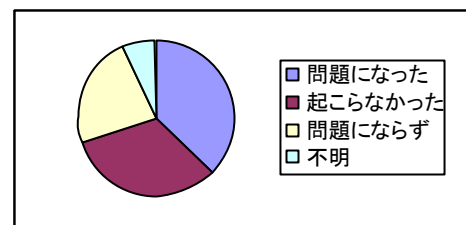


10. 学級・学校 閉鎖	性別×年齢										Total
	男性	男性	男性	男性	男性	女性	女性	女性	女性	女性	
	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	
問題になった	2	44	97	63	13	3	149	218	98	47	734
問題は起こらなかった	21	315	409	537	219	8	183	71	127	62	1,952
起こったが問題にならず		40	147	144	42		57	115	106	44	695
不明	2	14	14	62	106	7	42	13	13	23	296
Total	25	413	667	806	380	18	431	417	344	176	3,677

男性

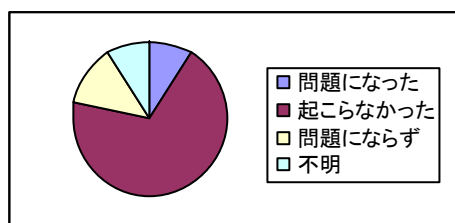


女性

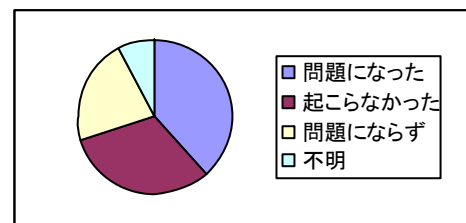


11. 学校の長期休業	性別×年齢										Total
	男性	男性	男性	男性	男性	女性	女性	女性	女性	女性	
	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	
問題になった	3	51	89	60	9	2	135	207	124	63	743
問題は起こらなかった	19	314	452	568	225	9	203	84	89	49	2,012
起こったが問題にならず		34	110	116	39		46	111	117	41	614
無回答	3	14	16	62	107	7	47	15	14	23	308
Total	25	413	667	806	380	18	431	417	344	176	3,677

男性

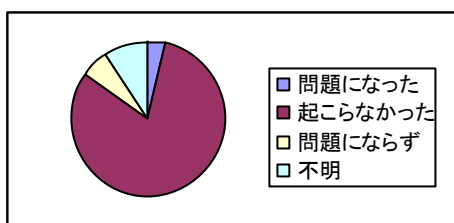


女性

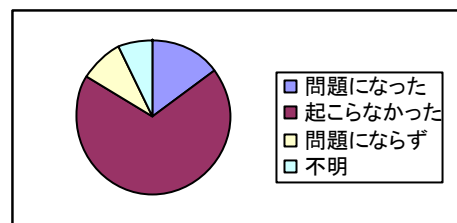


1 2. 保育園の安全管理への不安	性別 × 年齢										Total
	男性	男性	男性	男性	男性	女性	女性	女性	女性	女性	
	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	
問題になった	3	27	23	29	6	5	75	61	43	23	295
問題は起こらなかった	20	357	591	651	243	8	300	301	237	104	2,812
起こったが問題にならず		16	35	60	23		25	41	44	21	265
無回答	2	13	18	66	108	5	31	14	20	28	305
Total	25	413	667	806	380	18	431	417	344	176	3,677

男性

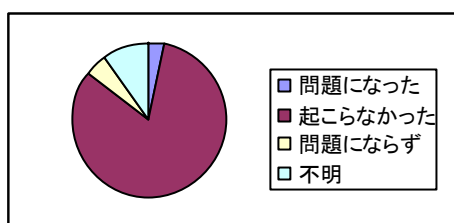


女性

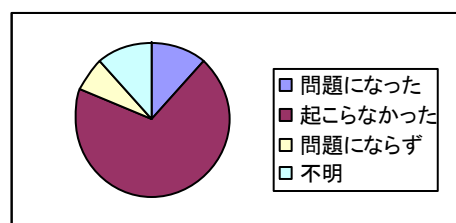


1 3. 学童施設の安全管理への不安	性別 × 年齢										Total
	男性	男性	男性	男性	男性	女性	女性	女性	女性	女性	
	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	
問題になった	3	17	21	28	5	2	38	60	41	25	240
問題は起こらなかった	19	361	596	657	244	9	316	295	237	98	2,832
起こったが問題にならず		16	30	51	23		12	37	36	17	222
無回答	3	19	20	70	108	7	65	25	30	36	383
Total	25	413	667	806	380	18	431	417	344	176	3,677

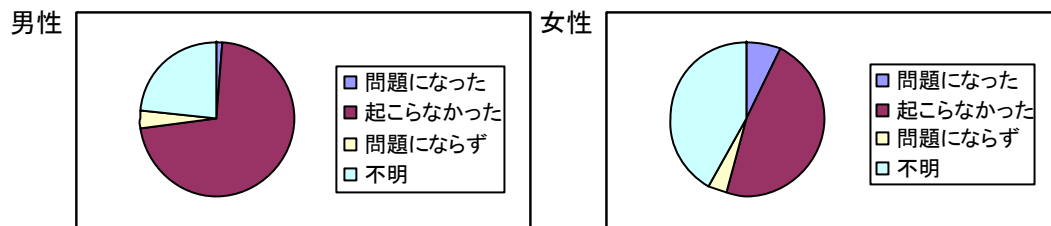
男性



女性



1 4. その他	性別 × 年齢										Total
	男性	男性	男性	男性	男性	女性	女性	女性	女性	女性	
	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	
問題になった	2	15	10	7	2	2	31	35	23	10	137
問題は起こらなかった	19	326	514	560	208	7	232	196	151	56	2,269
起こったが問題にならず		7	24	43	18		2	21	21	12	148
無回答	4	65	119	196	152	9	166	165	149	98	1,123
Total	25	413	667	806	380	18	431	417	344	176	3,677



以上の設問の解答で最も特徴的なことは、いずれの項目においても、男性の回答が「問題は起こらなかった」に集中していることである。一方、女性では、認可保育園への入所、子供の慢性疾患、子供の心理的問題、保育園や学童施設の安全管理への不安については「問題は起こらなかった」の回答が多かったものの、それ以外の項目では「問題になった」という回答が多かった。特に 40、50 歳代の女性では「問題になった」の回答数が目立った。この結果から、女性医師では、子供の病気（急病・感染症）や子供の学校・教育関係が勤務にとって問題になっていることが示された。

問 35 問 34 のような問題にどのように対応したか（当てはまるものすべて）

	性別 × 年齢										Total
	男性	男性	男性	男性	男性	女性	女性	女性	女性	女性	
	20代	30代	40代	50代	60代	20代	30代	40代	50代	60代	
両親に頼んだ	12	189	278	270	83	10	314	324	252	112	1,844
無認可保育園に預けた		27	32	30	9	3	70	63	39	23	296
病児保育を利用した		17	18	10	3	5	96	47	5	2	203
学童保育に預けた		11	36	36	7		36	123	60	25	334
ベビーシッターを頼んだ		19	48	62	23	2	89	156	163	79	641
ファミリーサポートを利用		22	25	11	2	2	58	58	7	1	186
自分が仕事を休んだ	7	109	177	156	24	10	326	331	238	84	1,462
配偶者が仕事を休んだ	6	103	193	212	59	3	124	151	93	31	975
自分が仕事をやめた			4	6	1	2	50	79	62	22	226
配偶者が仕事をやめた	6	54	55	74	22	1	5	3	3	1	224
その他		60	137	198	90	1	18	65	41	20	630
Total	31	611	1,003	1,065	323	39	1,186	1,400	963	400	7,021

男性は全ての年代において、「両親に頼んだ」が最も多く、次いで 20、30 歳代は「自分が仕事を休んだ」であったが、40、50 歳代では「配偶者が仕事を休んだ」の選択の方が多かった。しかし、40、50 歳代の男性でも「自分が仕事を休んだ」を選択した人は、それぞれ 3 番目、4 番目に多かった。

女性の 30、40 歳代は「自分が仕事を休んだ」が最も多く、次いで「両親に頼んだ」の順であり、50、60 歳代はその逆で「両親に頼んだ」が最も多く、次に「自分

が仕事を休んだ」が続いた。20 歳代は「自分が仕事を休んだ」と「両親に頼んだ」が同数だった。男女共にどの年代でも両親の存在は大きく、両親の支えなしでは育児問題に対処できない現状が浮き彫りとなった。一方、両親以外では、自分が仕事を休むという選択肢の選択が多く、この表にあるような無認可保育園、学童保育、病児保育、ベビーシッター、ファミリーサポートの利用はそれには及ばなかった。また、自分が仕事をやめたという女性の回答数は 215 に達し、女性回答者数（2,160）の約 1 割を占めた。

考察

本調査は第 1 回調査（2004 年 1 月）から 6 年目の 2010 年 1 月に実施されたが、日本小児科学会会員の皆様のご協力の基、多数の質問に丁寧にご回答いただいたお陰で、貴重なデータを集積することが出来た。2004 年以降、臨床研修プログラムが開始され、各種女性医師支援が計画され実践されてきた。よって、本調査結果は、このような小児科医を取り巻く環境の変化を反映していると考えることができる。

一方で、第 1 回調査の時に比べ、本調査の有効回答率は 8%低下した。今回は上限年齢を 70 歳としたため、前回の 70 歳までの回答数と比較すると、男性は 30.3%減少し、女性も 8.8%減少している。この理由として、本調査への関心の低下、日常業務の煩雑さによる多忙、またはその背景に、いくら調査を行っても現実問題がなかなか解決しないことへの不満感・虚無感などが考えられる。それらを考慮し、本調査結果を第 1 回調査結果と比較検討し、この 6 年間の支援のあり方を振り返るとともに、結果を今後の対策・計画に最大限に生かすことを意識して分析を行った。ここでは、特に次の 3 つのポイントに絞って考察を行う。

- 1) 婚姻・子供・家事・育児などの家庭環境および勤務と家庭の両立
- 2) 役職（勤務医）・実労働時間・休日回数などの就労環境・仕事の満足度
- 3) 休職・非常勤勤務の現状と勤務を継続するために必要な体制

1) 婚姻・子供・家事・育児などの家庭環境および勤務と家庭の両立

第 1 回調査の時に比べると男女とも既婚率は上昇し、特に女性は 12.1%上昇した。女性に限ると第 1 回調査と対象者の平均年齢は変わらずに、既婚率が上昇したことになる。子供の有無に関しては、男性は第 1 回調査と変化はないが、女性は子どもがいる割合が 3.5%上昇した。これは女性の既婚率上昇に伴う変化と考えることができる。

家事の担当の中心は、男性医師の場合は主に配偶者であるのに対し、女性医師は自分自身であった。第 1 回調査では本人と回答した女性は 81.9%であったが、今回は 86.5%に増えている。6 年前も女性医師にとって、家庭内の家事負担は大きかったが、その傾向はさらに強くなっている。その理由として、女性が両親に頼る割合が 7.6%から 6.4%に低下していることがある。現代社会では、女性の晩婚化や妊娠・出産の高齢化が進んでいるため¹⁾、その両親の年齢も高齢化している。これは両親に頼る割合が低下した理由の 1 つかもしれない。一方で、通常の勤務中の子供の世話については、女性

医師の場合、やはり両親に頼ることが多く、両親の支えが勤務継続の重要なファクターになっていることは間違いない。また、ホームヘルパーに頼る割合は 4.6%から 2.1%に低下し、他者に頼らず核家族内で自らが家事を担う傾向がより強くなっていることがわかる。この傾向は、勤務と家庭の両立をより難しくさせている可能性が高い。また、家庭内では子供・育児に関して問 34 にあるような様々な問題が日々浮上してくるが、それに対して両親を頼りながらも、自らが仕事を休むケースが男女共に多かった。そして、子供・育児問題のために仕事をやめたという女性の回答が 1 割あった。

このような現状に対し、まず、女性医師としては、育児に対する考え方を開放し、「子は自分中心に家族で育てる」という意識から「子は職場・地域・自治体を含めた周囲の多くの人々の協力を得て共に育てる」という意識に切り替えていくことが必要ではないだろうか²。そして、職場や地域に設置された育児支援を積極的に探し活用していく行動力も身に付けなければならない。そして、職場・地域・自治体には、このような女性医師の育児問題に対応できるような育児支援システムの構築が求められている。さらに、育児支援制度を積極的に利用できるように、女性医師の年齢や経済状況に応じた経済的な補助制度も併設されることが望まれる。若い世代の女性医師の離職をくい止めるためには、医師の育児問題を個々の問題として各個人・各家庭に任せるのではなく、社会全体の問題として受け入れ解決していく姿勢や考え方が必要とされている。

2) 役職（勤務医）・実労働時間・休日回数などの就労環境・仕事の満足度

常勤勤務医の役職として、年代の上昇に伴い、医員→医長→部長へのキャリアアップの傾向がある点は男女に共通した。ただし、医長、部長の割合は男性が女性を上回っていた。一方、大学における講師以上のスタッフの割合については男女間により大きな開きがあり、女性医師は大学でキャリアアップすることがより困難であることがわかる。キャリアアップは個人の就業意欲の向上・維持のためにも重要であるため、能力に応じた適正な評価が行われ、それがキャリアアップにつながることを肝心である。

1 週間の実労働時間の平均は 50.3±18.2 時間であり第 1 回調査と変化はなかったが、男女別に見ると男性の実労働時間は 2 時間延長され 55 時間となり、女性の実労働時間は 2 時間短縮して 45 時間となった。一概には言えないが、現状として実際に必要な労働時間が約 50 時間と仮定すれば、女性の分の労働時間を男性が負担し、その傾向が強まったように見える。特に女性の労働時間の特徴としては、30 歳代で減少し、40 歳代は 50 歳代より短くなっている。この理由として、育児に時間が必要となっている可能性が考えられたため、男女別に子供の有無で労働時間を比較したところ、子供がいる女性の実労働時間のみが平均値に比べると少ないことがわかった。前述の通り、女性医師の既婚率、子供を持つ比率が上昇し、また自らが家事を担当する割合も上昇傾向にあることがわかっており、これと反比例して子供がいる女性医師の実労働時間は少なくなっている。しかし、子供がいる女性の労働時間の平均は 37.4 時間であり、労働基準法³から考えれば極端に少ないとは言えない。もし、前述の仮定の通り、子供がいる

女性の労働時間の短縮分を男性医師や子供がいない女性医師がカバーしているのであれば、絶対的な医師数不足と言えよう。しかし、この結果を受けて全国の医学生の数を増やすという結論を出してよいのだろうか。1) の勤務と家庭の両立のところで触れた女性医師の1割にあたる離職者が何らかの形で現場復帰をすること、さらに今後はこの1割を生み出さないよう、そしてその割合が増えないような対策を練ることが先決ではないだろうか。その対策の1つとして、徹底した医師の労働内容の見直しが必要であろう。医師でなければできない仕事と医師以外の職種に任せられる仕事を適切に分類することで、医師の負担は軽減され、短時間で効率よく医療が遂行できるようになる。そうなれば、仕事と育児の両立も可能となり、女性医師の離職・休職は減るであろう。

第1回調査と比較すると、男女共に1ヶ月に休日が全くない人が減少していることは改善点と考えられる。しかし、現在でも休日がなく人が4.9%、1~2日の人が15.1%もいることに、医療現場の勤務状況の問題点が集約されている。特に、男性医師で休日がなく人は5.5%、1~2回が17.1%に及んでいる。男性を中心とした医師の過重労働は早急に解決すべき重要課題であると言える。上述の医師の実労働時間と合わせて見ても、この課題は6年前と比較して大きく改善されているとはいえない。

このような就労環境において、医師の満足度を評価した。収入については49.5% (男性45.7%、女性54.6%) が満足していると回答し、地位については56.1% (男性54.1%、女性58.8%) が満足していると回答した。特に、女性は男性に比べ収入は低く、常勤勤務医の役職が上がりにくい傾向が示されたにも関わらず、収入・地位に対する満足度は男性よりも高かった。ここに、男女間の感覚の違いが示されている。一方で、労働時間については満足していると回答した人は39.1%に過ぎず、やや不満と非常に不満の合計は30.9%に達した。前述の長時間の実労働時間や休暇不足との関連が示唆される。家庭とのバランスについては、やや不満と非常に不満と回答した人が32.6%に達した。これは、労働時間に対する不満とほぼ同等であり、やはり長時間労働が家庭とのバランスに負荷を与え、不満の原因に発展していると考えられた。

3) 休職・非常勤勤務の現状と勤務を継続するために必要な体制

男女別に子供の有無で休職の有無を比較したところ、子供がいる女性は男性や子供がいない女性に比べ、休職経験者が非常に多かった。また、休職中あるいは休職したことがある女性はどの年代も育児が最も大きな理由であり、女性回答者1,114人中64.5%に及んだ。その一方で、男性で育児を理由に休職した経験のある人は回答者176人中わずか2.3%に過ぎなかった。最近では育児休業制度が改訂され⁴、男性も取得しやすくなってきたが、医師における普及率は未だ低いと言える。一方、男女別に子供の有無で平均休職開始卒年を比較したところ、子供がいる女性の平均は6.7年であり、男性や子供がいない女性に比べ早いことがわかった。卒後6~7年は初期研修、後期研修が修了し、医師としての専門分野の研鑽を積み始める時期と重なる。しかし、母体の健康を考慮すると、同時期の30歳代前半の妊娠・出産は望ましい。育児と自己研鑽の両方

にとって、卒後 6～7 年からの約 10 年間は最も重要な時期となるため、女性医師にとってその両立は難しくなる。しかし、この時期を上手に乗り切ることができれば、勤務も継続しながら育児も一段落できる。そのため、この時期の様々な育児支援が重要となる⁵。さらに女性医師には、長期的な視野を持ちつつ、その時々の問題を解決していくバイタリティ、気力、体力が求められる。また、効果的な対策に、身近にロールモデルやメンターを探し、その人を参考にする、相談しながら解決策を探す、などがあげられる。

また、女性に非常勤勤務の経験者が多いことから、非常勤勤務が育児に関連する可能性が考えられた。そこで、男女別に子供の有無で非常勤勤務経験者を比較したところ、子供がいる女性は男性や子供がいない女性に比べ圧倒的に多いことがわかった。さらに年代別の非常勤勤務者の割合を第 1 回調査結果と比較すると、30、40、50 歳代の女性と 30 歳代の男性で上昇し、女性全体では 6 年間で 2.8%（男性は 0.5%）増えていた。勤務と家庭を両立させたいと考えていても、個人の家庭・育児事情と勤務条件が適合できず常勤勤務から非常勤勤務に切り替えている可能性は高い。また、一概に非常勤勤務 = 短時間勤務とは限らないが、6 年間で女性の非常勤勤務医が増え女性の労働時間が短縮されていることを考慮すると、両者の関連性が示唆される。今後、女性の常勤勤務医を増やすには、育児支援制度の充実とともに、勤務条件の多様性が必須である。

女性医師が充実した仕事を続けるために支障となる項目として、妊娠・出産、育児、子どもの教育、家族の支援のなさ、自分の能力、自分の体力を選択する人が多かった。つまり、女性は子供の育児や教育を中心とした家族内の問題と自分自身の問題に注目している人が多いことがわかった。また、労働条件の悪さや職場の人間関係、職場の支援のなさを支障とする人も多かった。一方男性では、労働条件の悪さや自分の体力、自分の能力、金銭的問題をあげる人が多く、さらに、支障はないという回答も多かった。これより、男女間には、根本的な視点、問題意識に異なる部分があることが示された。この男女間の違いを知った上で相互理解につなげ、支援対策が検討される必要がある。

また、男女問わず充実した仕事を続けるために絶対必要と判断した人が多かった項目は、労働条件の明確化と身分の明確化であった。一方、様々な育児支援・介護支援、職場・家族の意識改革、ワークシェアリング・産休などの制度については、女性は絶対必要と判断した人が多かったものの、男性は年代によって差がある項目も目立った。この男性の年代による感覚の差が今後一定の方向に収束するのか、年代の特徴として継続するのかは、今後同様の調査を繰り返すことで明らかになると思われる。現状では、男性は若い年代ほど育児支援の必要性を認識しており、これはこれまでの育児支援対策の成果と考えることができる。この意識が今後も継続し広がることが望まれる。

そして、現在の職場の育児・介護に関する様々な制度の有無については、「ある」が「ない」の回答より多い傾向を示したものは、妊娠時の深夜勤務（当直）免除、育児休業制度、産休中・育休中の身分保障、職場内の保育所・託児所だけであった。妊娠時の通勤緩和措置や健康診断、産休中・育休中の代替医師、産休中の給与の支払い、夜間保育システム、病児保育システム、職場内学童保育施設、介護休業制度は、「ない」

の回答が多かった。これらの整備は今後の大きな課題と言えよう。また、これらの制度があるかどうか「分からない」という回答も多く、利用する側の認識の低さも示された。

次に、それらの制度を利用したかどうかでは、男女共に「利用しなかった」または「利用できなかった」という回答が多かった。これには、制度そのものがない、または子供がいないため利用する必要がある場合も含まれるが、制度があり子供がいても必ずしも利用につながっていないことがわかった。つまり、制度があっても使われない何らかの理由や障害が存在している可能性がある。

続いて、「それらの制度が一般的に必要なかどうか」では、女性ではほとんどの項目において「絶対必要」と回答した人が最も多かったのに対し、男性は年代により必要性の感じ方に差があった。前述の「充実した仕事をするために必要かどうか」の結果同様、男性には年代による感覚の差が存在していることが明らかとなった。

これらの結果から、現段階では医師を取り巻く環境が整備されたとは言い難い。職場内制度の必要性の認識は高まりつつあるが、充足度は未だ低く、実際に存在しても使えるものとして定着しているとは限らないことがわかった。今後このような制度を新たに立ち上げる、又は十分に活用するには、充実した内容、利便性、関連する周辺制度の充実、組織や個人の意識改革を含め多方面からのアプローチが必要と思われる。

本調査結果より、小児科医師を取り巻く厳しい勤務環境が未だ続いており、女性医師の家庭における役割も依然大きいことが明らかとなった。このような現状は、おそらく小児科医に限られたことではなく、医師全般に共通する点が多いと考えられる。今後は、家庭・育児問題や就労に関する本質的な課題および時代に応じた変化を正確に把握した上で、様々な意識改革を含めた具体的な対応策を再検討し実施していくことが望まれる。一方、医師1人1人の中にこのような勤務環境や育児に関する問題意識が徐々に高まりつつあるのは確かであり、それはこれまでの様々な対策の成果であろう。今後、この感覚がさらに広まることが期待される。さらに、医師のあり方・働き方について、行政機関や医療組織の関係者、病院運営・経営者、医学教育者など様々な立場から、長期的な視野でもう一度見直す必要もあるのではないだろうか。

参考ホームページ（HP）および文献

1. 平成17年度人口動態職業・産業別統計の概況．厚生労働省 HP.
2. 「健やか親子 21」公式 HP（厚生労働科学研究費補助金（子ども家庭総合研究事業））
3. 労働基準法に関する Q & A. 厚生労働省 HP.
4. 育児・介護休業法の改正について．厚生労働省 HP.
5. 竹宮孝子，竹内千仙，児玉ひとみ他：医師の勤務に対応する学童保育支援の検討．東女医大誌 2009；79（9・10）：394-401

本研究は、平成 21-22 年度厚生労働省成育医療研究開発費事業*の支援を受け、その分担研究として調査を実施し報告書を作成した。

*研究課題：女性医療従事者の支援に関する研究

主任研究者：国立成育医療研究センター 内分泌代謝科 堀川玲子

分担研究課題：女性医療従事者の就労・育児支援に関する研究

分担研究者：東京女子医科大学 総合研究所 竹宮孝子

本報告書の引用を行う際には、出典を明記願います。